

# 沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事

国頭村字安田1477

令和7年度

図面目録					
番号	図面名称	番号	図面名称	番号	図面名称
【建築図】		【牧柵図】		【構造図】	
SPCA-01	建築工事特記仕様書（その1）	G-01	改修建具キープラン図		
SPCA-02	建築工事特記仕様書（その2）	G-02	改修牧柵平面図	S-01	構造図-1
SPCA-03	建築工事特記仕様書（その3）	G-03	建具詳細図	S-02	構造図-2
SPCA-04	建築工事特記仕様書（その4）	G-04	改修牧柵基礎図-1	S-03	構造図-3 継手詳細図
SPCA-05	建築工事特記仕様書（その 5）	G-05	改修牧柵詳細図-2		
SPCA-06	建築工事特記仕様書（その 6）	G-06	改修牧柵詳細図-3		
A-00	図面目録				
A-01	案内図・配置図				
	建物求積図				
A-02	改修平面図・仕上表				
A-03	既設屋根伏図				
A-04	改修立面図				
A-05	改修基本断面図				
A-06	改修平面詳細図-1				
A-07	改修平面詳細図-2				
A-08	改修平面詳細図-3				
A-09	改修平面詳細図-4				
A-10	改修断面詳細図-1				
A-11	改修断面詳細図-2				
A-12	改修断面詳細図-3				
A-13	改修断面詳細図-4				
A-14	スタンション詳細図-1				
A-15	スタンション詳細図-2				
A-16	既設平面図・仕上表				
A-17	既設屋根伏図				
A-18	既設立面図				
A-19	既設基本断面図				
A-20	既設平面詳細図-1				
A-21	既設平面詳細図-2				
A-22	既設平面詳細図-3				
A-23	既設平面詳細図-4				

[illegible]



[illegible]

[illegible]

16  
建具工事

30. 形式及び機構  
(16.12.2)

31. 材 料  
(16.12.3)

32. 材 料  
(16.13.2)

33. ガラス溝の寸法、  
形状等  
(16.13.3)

34. ガラスブロック組み  
(16.13.5)

35.

12節 オーバーヘッドドア

セクション材料による区分 (JIS A 4715)  
※アルミニウムタイプ ・ スチールタイプ ・ ファイバークラスタイプ  
耐風圧性能 (JIS A 4715) ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125  
開閉方式 ※バランスタイプ ・ チェーン式 ・ 電動式  
収納形式 ・ スタンダード形 ・ ロートヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形  
ガイドレール ※ステンレス製 (・ SUS304 ・ SUS316) ・ その他 ( )

13節 ガラス

※板ガラスの種類、品種、厚さ等は図示による  
ガラス留め材  
・ シーリング ※表9.6.11による ・ その他 ( )  
・ ガスケット (JIS A 5756) ※グレイジングチャンネル形 ・ その他 ( )

ガラス溝の大きさ ※表16.13.1による ・ その他 ( )

JISによる区分

表面形状区分	呼び寸法による区分	厚さによる区分	
・ 正方形	・ 125×125 ・ 200×200	・ 160×160 ・ 320×320	
・ 長方形	・ 250×125	・ 320×160	

品質等

ガラスの種類	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス	・ 無	・ 白	・ アルミニウム製	・ 規定しない
・ 乳白ガラス	・ 有	・ グレー	・ ステンレス製	・ 有
・ カラーガラス				( 分間 )

・ 建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法 ( )

その他

17  
カーテンウォール工事

1. 性 能  
(17.1.3)

2. 材 料  
(17.2.2)

3. 形状及び  
仕上げ  
(17.2.3)

4. 取 付 け  
(17.2.5)

5. ガラスの取り付け  
(17.2.6)

6. 材 料  
(17.3.2)

7. 形状及び仕上げ  
(17.3.3)

8. 製 作  
(17.3.4)

9. 取 付 け  
(17.3.5)

10. ガラスの取り付け  
(17.3.6)

11.

1節 一般事項

耐風圧性  
・ 2400Pa (S-5) かつ建築基準法施行令又は告示により算定した値  
・ 2800Pa (S-6) かつ建築基準法施行令又は告示により算定した値  
・ 3600Pa (S-7) かつ建築基準法施行令又は告示により算定した値  
・ その他 ( )  
耐震性  
水平方向地震力係数 ※1.0 ・ その他 ( )  
垂直方向地震力係数 ※0.5 ・ その他 ( )  
水密性  
・ 350Pa  
・ 500Pa  
・ その他 ( )  
気密性  
・ 8等級  
・ 2等級  
・ その他 ( )  
耐火性 ※建築基準法による ( )  
耐火性能  
・ T-4等級  
・ T-3等級  
・ その他 ( )  
遮音性の等級  
・ H-4以上  
・ H-5以上  
・ その他 ( )  
性能の確認方法  
・ 監督員の承認による ・ その他 ( )

2節 メタルカーテンウォール

材料の種類  
・ シリコン系  
・ 変成シリコン系  
・ ポリサルファイド系  
ガラス取付シーリング材  
・ シリコン系  
・ その他 ( )  
構造ガasket (JIS A 5756) ・ 形状 ( ) ・ 寸法 ( )  
断熱材 ・ ポリウレタン系 ・ ポリスチレン系 ・ その他 ( )

製品の寸法許容差 ※表17.2.1による ・ その他 ( )  
見え掛かり部分の仕上げ  
・ アルミニウム材 ( ) ・ 鋼材 ( ) ・ その他 ( )  
ガラス溝の寸法 ※製作所の仕様 ・ その他 ( )

躯体付け金物の取り付け位置の寸法許容差 ※表17.2.2 ・ その他 ( )  
カーテンウォール部材の取り付け位置の寸法許容差 ※表17.2.3 ・ その他 ( )

ガラスの取り付け ・ 構造用ガasketを用いる ・ 用いない

3節 PCカーテンウォール

コンクリートの種類及び品質  
※標準仕様書表17.3.2(a)(1) (i)～(V) ・ その他 ( )  
所要スランプ ※12cm以下 ・ その他 ( )  
鉄筋の種類 ※SD295A ・ その他 ( )  
補強鉄線 ※3.2mm以上 ・ その他 ( )  
シーリング材の種類 ・ 変成シリコン系 ・ ポリサルファイド系 ・ ポリウレタン系  
耐火目地材 ( )  
断熱材 ・ ポリウレタン系 ・ ポリスチレン系 ・ その他 ( )  
ガラス取付シーリング材 ・ シリコン系 ・ その他 ( )  
構造ガasket (JIS A 5756) ・ 形状 ( ) ・ 寸法 ( )  
ゴンドラ用ガイドレール ※図示による ・ その他 ( )

製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.1による ・ その他 ( )  
PCカーテンウォールの仕上げ ・ 天然石 ・ タイル ・ その他 ( )  
構造用ガasketを用いる場合の溝 寸法許容差 ※±1mm ・ その他 ( mm )  
寸法公差 ※±1mm ・ その他 ( mm )

配筋 ※配筋を定めた計算書による ・ その他 ( )

躯体付け金物の取り付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.2 ・ その他 ( )  
カーテンウォール部材の取り付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.2 ・ その他 ( )

ガラスの取り付け ・ 構造用ガasketを用いる ・ 用いない

その他

1節 一般事項

塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
防火材料の指定  
・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・ 次の箇所を除き防火材料とする。( )

18  
塗装工事

1. 材 料  
(18.1.3)

2節 素地ごしらえ

木部 (表18.2.1)  
・ 不透明塗料塗り ※A種 ・ B種  
・ 透明塗料塗り (・ A種 ※B種)

鉄鋼面 (表18.2.2) ・ A種 ・ B種 ※C種

重鉛めつき鋼面 (表18.2.3)  
※標準仕様書の塗り工法に応じた節の規定による  
・ その他 ( )

モルタル面、プラスター面 (表18.2.4) ・ A種 ※B種

コンクリート面、ALCパネル面 (表18.2.5) ・ A種 ※B種  
ただし、2液形ポリウレタンエナメル塗り、アクリルシリコン樹脂エナメル塗り及び  
常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合は表18.2.6のA種とする。

せっこうボード面等 (表18.2.7)  
・ 継目処理工法 ※A種 ・ B種  
・ その他の処理工法 (・ A種 ※B種)

3節 錆止め塗料塗り

鉄鋼面錆止め塗料 (表18.3.1)  
屋外・屋内 ※A種  
ただし、屋内で、つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの場合はB種とする。  
重鉛めつき鋼面錆止め塗料 (表18.3.2) ※A種  
ただし、屋内で、つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの場合はC種とする。

4節 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)

塗料の種類  
※1種 ・ 2種

鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り (表18.4.2)  
・ A種 ※B種

5節 クリヤラッカー塗り (CL)

クリヤラッカー塗り (表18.5.1)  
・ A種 ※B種

6節 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (表18.7.1)  
・ A種 ※B種

7節 耐候性塗料塗り (DP)

鉄鋼面耐候性塗料塗り (表18.7.1)  
製作工場で溶接下面の下塗り 18.7.2.(b)(2)  
現場溶接部及び組立中の下塗り破損部分 18.7.2.(b)(3)

8節 つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)

コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等  
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (表18.8.1)  
・ A種 ※B種

9節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)

合成樹脂エマルジョンペイント塗り (表18.9.1)  
・ A種 ※B種

10節 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)

コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面等  
合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (表18.10.1)  
・ A種 ※B種

11節 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)

ウレタン樹脂ワニス塗り (表18.11.1)  
・ A種 ※B種

12節 マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り (表18.14.1)  
・ A種 ・ C種  
A種及びC種の凸凹処理仕上げ  
行う ・ 行わない  
C種の仕上げ材塗り  
・ アクリル樹脂エナメル2回塗り ・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り

13節 木材保護塗料塗り (WP)

木材保護塗料塗り (表18.13.1)  
・ A種 ※B種

14節 マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り (表18.14.1)  
・ A種 ・ C種  
A種及びC種の凸凹処理仕上げ  
行う ・ 行わない  
C種の仕上げ材塗り  
・ アクリル樹脂エナメル2回塗り ・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り

15節 補償規定

元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を提出する。  
保証期間は、工事引渡し後 ( 10 ) 年間。  
・ 塩化ビニールエナメル塗り VE

19  
内装工事

1. 材 料  
(19.2.2)

2. 施 工  
(19.2.3)

3. 材料及び工法  
(19.3.4)

4. 材 料  
(19.4.2)

5. 工 法  
(19.4.3)

6. 材 料  
(19.5.2)

7. 工法一般  
(19.5.3)

8. モルタル埋込み工法  
(19.5.4)

9. 釘留め工法  
(19.5.5)

10. 接着工法  
(19.5.6)

11. 仕上げ  
(19.5.7)

12. 特殊なフロ  
ーリング張り  
(19.5.9)

13. 材 料  
(19.6.2)

2節 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

・ ビニル床シート (JIS A 5705)  
種類記号 ※NC ・ その他 ( )  
色柄 ・ 無地 ・ その他 ( )  
厚さ ※2.5mm ・ mm ・ mm  
・ ビニル床タイル (JIS A 5705)  
種類 ( )  
厚さ ※2.0mm ・ その他 ( 3.0mm )  
・ 帯電防止床シート  
種類 ( )  
性能 ( )  
厚さ ( )  
・ 帯電防止床タイル  
種類 ( )  
性能 ( )  
厚さ ( )  
・ 視覚障害者用床タイル  
種類 ( )  
形状 ( )  
・ 耐動荷重性床シート  
種類 ( )  
厚さ ( )  
○ビニル幅木  
厚さ ※1.5mm ・ その他 ( )  
高さ ※60mm ・ その他 ( 75mm )  
・ ゴム床タイル  
種類 ( )  
厚さ ( )

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイルの施工時に使用される接着剤のホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
ただし、ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイルの施工時に使用される接着剤は、  
メソホルマリンタイプとし、トルエンやキシレン及びエチルベンゼンの発生の原因とな  
る有機溶剤の含有の少ないものとする。

下地の工法  
・ 19.2.3(a) (1)～(3)による ・ その他 ( )  
ビニル床シートの熱溶接工法  
※適用する ・ 適用しない

3節 カーペット敷き

・ 織じゅうたん (JIS L 4404 表19.3.1)

種 別	織り方	ハ イル形状	帯電性	備 考
・ A種			※人体帯電電圧 3kV以下	
・ B種				
・ C種				

・ タフテッドカーペット (JIS L 4405)

ハ イル形状	バ イル長 (mm)	帯電性	工 法	備 考
・ A種		※人体帯電電圧 3kV以下	・ グリッパ工法 ・ 全面接着工法	
・ B種				
・ C種				

・ ニードルパンチカーペット

厚さ (mm)	帯電性	備 考
・ A種	※人体帯電電圧 3kV以下	
・ B種		
・ C種		

・ タイルカーペット (JIS L 4406)

種 別	ハ イル形状	寸 法	総厚さ (mm)	備 考
・ 一様	・ ループバイル	・ 500mm角	※6.5	
・ 二様				

タイルカーペットの敷き方  
・ 縁取り敷き ・ 模様敷き ・ その他 ( )  
・ 縁取り部分 ※模様敷き ・ 市松敷き ・ その他 ( )  
・ 下敷き材 ※JIS L3204の第2種2号 厚さ8mm ・ その他 ( )  
・ 見切り、押さえ金物 (材質： ) 種類： 形状：  
カーペット等の接着に使用される接着剤のホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )

4節 合成樹脂塗床

弾性ウレタン塗床及びエポキシ樹脂塗床に使用する塗材のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )

弾性ウレタン塗床仕上げの種類 (表19.4.3)  
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ  
・ エポキシ樹脂塗床仕上げの種類  
・ 薄膜流し展べ仕上げ (表19.4.4) ・ 厚膜流し展べ仕上げ (表19.4.5)  
・ 樹脂モルタル仕上げ (表19.4.6) ・ 防滑仕上げ (表19.4.7)

5節 フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
フローリングの品名  
・ 層間フローリング (・ フローリングボード ・ フローリングブロック ・ モザイクパケット)  
・ 複合フローリング (・ 複合1種フローリング ・ 複合2種フローリング  
・ 複合3種フローリング)

フローリング張りの工法  
・ 湿式工法 (モルタル埋込み工法)  
・ 乾式工法 (・ 釘留め工法 ・ 接着工法)

フローリングブロックの樹脂、厚さ及び大きさ  
※表19.5.1による  
・ その他 (樹脂： 厚さ： 大きさ： )

フローリングの樹脂 ※なら ・ その他 ( )  
複合フローリングの種類 (表19.5.3) ・ A種 ・ B種 ※C種  
C種の場合の防湿処理 ・ 必要 (下張り工法) ・ 不要  
接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )

フローリングの樹脂等 (表19.5.1、表19.5.2及び表19.5.4)  
※なら ・ その他 ( )  
モザイクパケットの樹脂、厚さ及び大きさ  
樹脂 ( ) 厚さ ( ) 大きさ ( )  
フローリング裏面の繊維材 ※合成樹脂発泡シート ・ その他 ( )  
接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )

フローリング表面の塗装  
※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り  
・ 生地のままワックス塗り

体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床の場合  
※日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」  
・ 図示による

6節 畳敷き

畳の種類 (表19.6.1)  
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種  
D種の場合の畳表 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N

19  
内装工事

1. 材 料  
(19.7.2)

15. 工 法  
(19.7.3)

16. 材 料  
(19.8.2)

17. 施 工  
(19.8.3)

18. 断熱材打込み工法  
(19.9.2)

19. 断熱材現場発泡工法  
(19.9.3)

20.

7節 せっこうボード、その他ボード及び合板張り

せっこうボード、その他のボードの種類、厚さ等は図示による。  
パテティクルボード及びMDFの集成材等のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
合板のホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
普通合板の裏面の樹脂を  
・ 生地又は透明塗装塗り ※ワラン程度 ・ その他 ( )  
・ 不透明塗料塗り ※しな程度 ・ その他 ( )  
普通合板の板面の品質  
・ 広葉樹1等 ・ 広葉樹2等 ・ 針葉樹a ・ 針葉樹b ・ 針葉樹c ・ 針葉樹d  
普通合板の防虫処理  
※処理する ・ 処理しない  
普通合板の厚さ  
・ 3.0mm ・ 4.0mm ・ 5.5mm ・ 6.0mm ・ その他 ( )  
天然木化粧合板の樹脂名、防虫処理、厚さ等  
・ 化粧板厚さ ・ 0.3mm以下 ・ その他 ( mm )  
そば包み ・ 有 ・ 無 板厚さ ( mm )  
耐水性 ( ・ 1類 ・ 2類 ) 防虫処理 (※処理する ・ 処理しない)  
特殊加工化粧合板の化粧加工の方法、表面性能、防虫処理、厚さ等  
化粧加工の方法  
・ オールベレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ その他 ( )  
表面性能  
・ Kタイプ ・ Fタイプ ・ Wタイプ ・ Sタイプ  
厚さ ( 4.0mm )  
接着剤 (JIS A 5538) のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
遮音壁に用いる遮音シール材  
・ アクリル系、ウレタン系等のシーリング材 (JIS A 5758)  
・ ジョイントコンパウンド (JIS A 6914)

下地の種類 ・ 軽量鉄骨 ・ 木造 ・ その他 ( )  
合板類の張付け (表19.7.3) ・ A種 ※B種  
せっこうボードの目地工法の種類 (表19.7.5)  
○継目処理 ・ 突付け ・ 目透かし

8節 壁紙張り

壁紙の材料 (JIS A 6921)

施工箇所	壁紙の種類				防火性能の級別	品質
	紙	織物	ビニル樹脂	フラスチック		
					・ 1級 ・ 2級	
					・ 1級 ・ 2級	
					・ 1級 ・ 2級	
					・ 1級 ・ 2級	

壁紙のホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
壁紙接着剤のホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )  
なお、壁紙用接着剤はフルセージ・フチル及びフタル酸ジ・エチルヘキシル等を  
含有しない難燃発性の可塑剤を使用している規格品とする。

せっこうボード面の素地ごしらえ (表18.2.7) ・ A種 ※B種

9節 断熱・結露

断熱材打込み工法の材料 (JIS A 9511)  
・ ポリスチレンフォーム保温材 (種類： 厚さ： mm)  
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (種類： 厚さ： mm)  
・ 硬質ウレタンフォーム保温材 (種類： 厚さ： mm)  
ただし、硬質ウレタンフォームの保温材の発泡剤による種類はA種とする。  
張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆ ・ その他 ( )

断熱材の種類 (JIS A 9526) ※A種1 ・ A種2 ・ A種3 ・ B種1 ・ B種2  
収付け厚さ ( 20 mm)

その他

2節 ユニット工事等

施工箇所

施工箇所	図示
構成材	
表面仕上げ材	一般床部 ※タイルカーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル
	ボーダー部 スロープ
形状寸法 (mm)	・ 500×500
高さ (mm)	・ H=100
荷重材 (N)	・ 3000 ・ 5000
許容水平力 (G)	・ 0.6 ・ 1.0

材料等 (JIS A 6512)  
構造形式 ( ) 構成材の種類 ( )  
構成材の遮音性 ( )  
パネル表面仕上げ ( )  
パネル内建具 ※図示による

材料等  
パネルの操作方式による種類 ( )  
パネル表面材の材質 ( ) パネル表面材の仕上げ ( )  
性能等  
パネル圧接装置の操作方式 ( ) ハンガーレール下地の補強 ( )  
遮音性能 ( )  
工法  
あと施工アンカー (材質： 寸法： )

材料  
パネルの裏面材 ・ メラミン樹脂系 ・ ポリエステル樹脂系 ・ その他 ( ) 厚物メラミン化粧板  
パネルの主要基材 ( )  
脚部タイプ ※幅木タイプ ・ その他 ( )  
脚つなぎ等の構造金物はステンレス製のものとする。  
※Dアフロ・アルミ製オールエッジタイプとする。

材質・形状 ※ステンレス (SUS304) 製 (タイヤ入り又はビニルタイヤ入り)  
・ その他 ( )  
寸法 ※幅35mm程度 ・ その他 ( )  
取付け工法 ※接着工法 ・ 埋め込み工法

MEMO

株式会社  
翁長設計  
代表取締役 翁長武範

一級建築士事務所 (知事) 登録第 162-192号  
一級建築士 3 7 6 3 8 4 吉田 康平  
浦添市勢理客 3 - 2 - 2 4  
TEL 8 7 7 - 5 6 0 9  
FAX 8 7 8 - 9 4 2 9

管理建築士

設計

工事名称  
沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事

工事場所  
国頭村字安田1477

日付  
令和 07 年 07 月 日

図面内容  
特記仕様書-5  
NO SCALE

図面番号  
SPCA-05



⑳ユニット及びその他工事

6.黒板及びホワイトボード  
(20.2.8)

7.鏡  
(20.2.9)

8.表示  
(20.2.10)

9.煙突ライニング  
(20.2.11)

10.ブラインド  
(20.2.12)

11.ロールスクリーン  
(20.2.13)

12.カーテン及びカーテンレール  
(20.2.14)

特記事項

種類

寸法

色彩

施工箇所

・黒板 ※焼き付け  
JIS A 6007

※ 緑

※平面 ・曲面 ・引き分け  
・図示

・ホワイトボード  
JIS A 6052

※ 白

※平面 ・曲面 ・引き分け  
・図示

鏡のガラス (JIS R 3202)  
厚さ ※5mm ・その他 (mm)

衝突防止表示 形状 ( ) 寸法 ( ) 材質 ( )  
法令に基づく非常用出入口等の表示  
※消防法に適合する市販品  
・その他  
変名札等の形状、寸法等は図示による。

煙突用成形ライニング材  
・セライト系けい酸カルシウム材  
・心材付き繊維積層ライニング材  
適用安全使用温度 (℃)

・横形ブラインド (JIS A 4801)  
種類 ※ギヤ式 ・コード式 ・その他 ( )  
スラットの幅 ※25mm ・その他 (mm)  
スラットの材質 ※アルミニウム合金製 ・その他 ( )  
ヘッドボックス及びボトムレールの材質 ※鋼製 ・その他 ( )  
・横形ブラインド  
ブラインドの寸法 幅 ( ) 高さ ( )  
開閉方式 ・片開き方式 ・両開き方式  
操作方式 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式  
スラットの材質 ・焼き付け塗装仕上げアルミスラット  
・防炎性能認定表示のある特殊樹脂加工のクロススラット  
スラットの幅 ・80 ・100

操作方式 ・スプリング式 ・コード式 (チェーン式) ・電動式  
・その他 ( )  
ロールスクリーンの幅 ( ) 高さ ( )  
スクリーンの材質 ( ) 品質 ( )  
巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード等の材料  
※製造所の仕様 ・その他 ( )

施工箇所			
シングルダブルの別	・シングル	・ダブル	
ひだの種類			
きれ地の種類			
形式	・片引き	・引分け	
開閉操作方式	・手引き	・ひも引き	・電動
レール及びブラケットの強さ	※ 10-90 ・ 10-60		
レールの材質 (JIS A 4802)	※アルミ及びアルミ合金 金型押出成型材		
レールの形状	※ 角形		
レール仕上げ	※ アルマイト		

増専用カテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・その他 (mm)

⑲点検口

13.材 料  
(20.3.2)

13.材 料  
(20.3.2)

14.製 作  
(20.3.3)

15.養生その他  
(20.3.4)

16.材 料  
(20.4.2)

17.工 法  
(20.4.3)

18.コーナースペース

3節 プレキャストコンクリート工事

適用箇所

セメントの種類 (表6.3.1)

※普通ポルトランドセメント

・その他 ( )

砂利及び砂の種類 (JIS A5308)

※A

・B

砕石及び砕砂の種類 (JIS A5005)

※A

・B

アルカリシリカ反応

・本工事において使用する骨材についてアルカリシリカ反応性試験を行う。  
( ・化学法 ・モルタルバ法 ・その他促進試験 )

・年2回の生コン工場定期検査結果で確認する。  
上記の結果から、骨材が有害と判定された場合は、アルカリ膨張規制 (コンクリート中のアルカリ総量が3kg/m3以下) 等によりアルカリ骨材反応の抑制対策を講じる。  
混和剤 (JIS A 6204)  
※標準仕様書6.3.5(1) ( ・AE水剤 ・高性能AE減水剤 ・高性能AE減水剤 )  
・その他 ( )  
混和材 (JIS A 6201)  
※標準仕様書6.3.5(2) ( ・フライアッシュⅠ種 ・フライアッシュⅡ種 ・高炉スラグ微粉末 (JISA6206) ・膨張剤 (JISA6202) )  
・その他 ( )

規格番号	種 類	径 (mm)
※JIS 6 3112	・SD295A	・D10 ・D13 ・D16
	・SD345	・D19 ・D22 ・D25

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋

補強鉄筋の径 ※3.2mm ・その他 (mm)

コンクリートの設計基準強度 (N/mm2)  
鉄筋の配筋 ※配筋を定めた計算書を監修員に提出  
・図示による

取付け方法 ※図示による  
・製作工場の仕様による

4節 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

間知石の材質

・花こう岩 ・安山岩 ・その他 ( )

コンクリート間知ブロックの種類及び質量区分 (JIS A 5371)

	種 類	質量区分
・長方形 (1〜7種)	・	・A種 ・B種
・正方形 (8〜10種)	・	・A種 ・B種
・正六角形 (11〜12種)	・	・A種 ・B種

間知石の積み方 ※谷積み ・布積み  
目塗り ・行う ・行わない  
伸縮調整目地 材質 ( ) 厚さ (mm)

その他

材質 ※ステンレス製 ( SUS304 ) ・アルミニウム合金製

型 式	材 種	寸 法	タイプ
天井	※アルミニウム製	○450×450 ・600×600	※縦線タイプ ・目地タイプ
床	※アルミニウム製 ・ステンレス製	・450×450 ・600×600	※目地タイプ

⑳ユニット及びその他工事

20.鍵箱

21.くつきマット

22.流し台ユニット

23.天井見切り縁

2節 排水工事

①排水管  
(21.2.1)

②側溝、排水側等  
(21.2.2)

③その他の材料  
(21.2.3)

④工 法  
(21.3.3)

5.

2節 材料

排水管用材料 (表21.2.1)

材 種	管の種類	呼び径	管形状
・流し台	・1200	・1500	・1800
・コンロ台	・600	※700	
・つり戸棚	※1200	・900 ・600	・1500
・水切り棚	※1200		

材質 ・アルミニウム製 ・塩ビ製

2節 施工

・標準仕様書21.3.3の工法による硬質塩化ビニル管継手の接着  
・接着剤  
・標準仕様書21.3.3以外の工法 (図示による)

2節 路 床

遮断層 ・設ける (厚さ mm) ・設けない ※図示による  
・透水性舗装のフィルター層の厚さ  
※車道部150mm、歩道部50mm  
・その他 (mm) (mm)  
路床安定処理の適用 ・適用する ・適用しない  
路床安定処理の方法  
※追加材料による安定処理 (厚さ 300mm、目標CBR 5以上)  
・その他 ( )

2節 路盤

路盤の厚さ (表22.3.1)  
歩道部 (mm) ※100 ・150 ・250 ・300 (歩道切下部) ※図示による  
車道部 (mm) ※100 ・150 ・250 ・300 ・ ※図示による

④路盤の構成及び仕上り  
(22.3.2)

⑤材 料  
(22.3.3)

⑥試 験  
(22.3.5)

4節 アスファルト舗装

舗装の種類 (表22.4.1)

部 位	舗装の厚さ	
車道部 (基層あり)	基 層	表 層
車道部 (基層なし)		50
歩道部		

舗装の構成及び厚さ ※表22.4.1による ・図示による

舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じさせない  
・その他 ( )

表層用アスファルト混合物に添加する着色骨材 ( )

加熱アスファルト混合物等の種類及び標準配合 (表22.4.6)  
・密粒度アスファルト混合物 ・細粒度アスファルト混合物

プライムコート・タックコートの施工を行う

アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

㉑舗装工事

12.舗装の構成及び仕上り  
(22.5.2)

13.材 料  
(22.5.3)

14.工 法  
(22.5.4)

15.試 験  
(22.5.6)

16.舗装の構成及び仕上り材料  
(22.6.2)  
(22.6.3)

17.舗装の構成及び仕上り材料  
(22.7.2)  
(22.7.3)

18.舗装の構成及び仕上り材料  
(22.8.2)  
(22.8.3)

19.舗装の構成及び仕上り  
(22.9.2)

20.材 料  
(22.9.3)

21.材 料  
(22.10.2)

22.工 法  
(22.10.3)

23.材 料  
(22.11.2)

24.

5節 コンクリート舗装

コンクリート舗装等の厚さ (表22.5.1)

コンクリート舗装	車道部	※ 150mm	・その他 ( )
	歩道部	※ 70mm	
転圧コンクリート舗装	車道部	※ 150mm	

舗装の平坦性は、著しい不陸がないこと。

コンクリート舗装等に使用するコンクリート (表22.5.2)

部 位	設計基準強度 (N/mm2)	スラグ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)
車道部	※ 24	※ 8	・ 砂利25又は40、砕石25又は25
歩道部	※ 18	※ 6	・ 砂利25、砕石20

転圧コンクリート舗装に使用するコンクリート ( )  
注入目地材料 (表22.5.3) ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ

転圧コンクリート舗装の工法 ( )

コンクリート版の厚さ試験を行う

6節 カラー舗装

カラー舗装の厚さ、仕上り及び材料

舗装の種類	部 位		カラー舗装の厚さ
	車道部 (基層なし)	車道部 (基層あり)	50 50 30
加熱系	アスファルト混合物 石油樹脂系混合物		
常温系	樹脂混合物系 ニート工法 塗布工法	車道部及び歩道部	5〜10 3〜5 1程度以下

7節 透水性アスファルト舗装

透水性アスファルト舗装の厚さ、仕上り及び材料

部 位	厚さ (mm)	舗装の平坦性	舗装の材料
車道部	※ 50	※ 著しい不陸がない	※ 改質アスファルトⅠ型 ・ (カラー)
歩道部	※ 30		※ ストレートアスファルト ・ (カラー)

8節 排水性アスファルト舗装

排水性アスファルトの構成、厚さ及び品質等 (表22.8.1) (表22.8.2) (表22.8.3)

部 位	厚さ (mm)	改質アスファルトの品質	改質アスファルト乳剤の品質
表層	※ 40	・改質アスファルトⅠ型 ※改質アスファルトⅡ型	・PKR-T1 ・PKR-T2
基層	※ 50		

舗装の平坦性は、著しい不陸がないこと。

9節 ブロック系舗装

コンクリート平板舗装の目地材 ※砂 ・モルタル  
舗石の基層 ※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装  
仕上がり面の平坦性 ※22.9.2(b)による ・その他 ( )  
コンクリート平板の種類 (JIS A 5371) ※N300 ・その他 ( )  
インタロックキングブロックの種類 (JIS A 5371)  
※普通 ・透水性 ・植生用  
インタロックキングブロックの形状、寸法 ※図示による ・その他 ( )  
インタロックキングブロックの厚さ ・60 ・80  
二層型の表層仕上り ( )  
舗石の種類 (JIS A 5003) ( ) 形状 ( )  
寸法 (mm) ( )  
・ジオテキスタイル使用箇所 ( ) 品質 ( )

10節 街きよ、緑石及び側溝

緑石の種類等 (表22.10.1)  
・片面歩車道境界ブロック (・A・B・C) 長さ (※600mm ・1000mm) ※図示による  
・両面歩車道境界ブロック (・A・B・C) 長さ (※600mm ・1000mm) ※図示による  
・地先境界ブロック (・A・B・C)  
L型側溝  
・プレキャスト無筋コンクリート製品 (・250A ・250B)  
・プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (・1種 ・2種) 呼び名 ( )  
U型側溝及びふた  
本体の種類 (呼び名: 250 L: 1000)  
ふたの種類 ( )

10節 砂利敷き

砂利敷きの種別 (表22.11.1)

部 位	種 別
通路	※A種 ・B種
建物周辺その他	・A種 ※B種

※図示による  
※図示による

その他

㉒植栽及び屋根緑化工事

1.植栽地の確認等 (23.1.3)

2.植栽基盤一般  
(23.2.2)

3.材 料  
(23.2.3)

4.材 料  
(23.3.2)

5.新植の工法  
(23.3.3)

6.新植樹木の枯補償  
(23.3.4)

7.移植樹木の枯損処置  
(23.3.6)

8.材 料  
(23.4.2)

9.芝張りの工法  
(23.4.3)

10.芝張り、収付けは種及び地被類の枯補償  
(23.4.7)

11.植栽基盤  
(23.5.2)

12.材 料  
(23.5.3)

13.工 法  
(23.5.4)

14.新植樹木、芝及び地被類の枯補償  
(23.5.5)

15.

1節 一般事項

※土壤の水素イオン濃度 (pH)、水溶性塩類 (EC) 等の試験を行う

2節 植栽基盤

植栽基盤整備工法 (表23.2.2)  
樹木 ※行う (※A種 ・B種 ・C種 ・D種) ・行わない  
芝 ※行う (・A種 ※B種 ・C種 ・D種)  
有効土層整備面積及び厚さ

樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	備 考
・ 12以上	※ 100	※ 図示による
・ 7以上〜12未満	※ 80	
・ 3以上〜7未満	※ 60	
・ 3未満	※ 50	
※ 芝・地被類	※ 20	

暗きよ等の設置 ・図示による ・その他 ( )  
土壤改良材 ・適用する ・適用しない

3節 植樹

樹木の樹種等は図示による。  
支柱の材料 ※丸太 ・竹 ・防腐剤塗リ支柱  
丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・その他 ( )  
幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも  
支柱は図示による

※引渡しの日から1年間 ・その他 ( 年間)

※引渡しの日から1年間 ・その他 ( 年間)

4節 芝張り、収付けは種及び地被類

芝の種類 ※こらうらひ芝の種類 ・野芝の種類  
収付けの種類の種類 ※洋芝類又はクローバー、種子量 (g/m2)  
・その他 ( ) 種子量 (g/m2)  
地被類の樹種等は図示による。  
芝張り工法 平地 ※目地張り ・その他 ( )  
法面 ※たれ張り ・その他 ( )  
※引渡しの日から1年間 ・その他 ( 年間)

5節 屋上緑化

土壤層の厚さ ・6cm ・15cm ・30cm ・その他 ( )  
保水・排水層 ・軽量骨材 ・板状成型品  
土壤層 ※改良土 ・人工軽量土  
樹木、芝及び地被類の樹種等は図示による。  
縁材、舗装材、水抜き管、マルチング材等は、図示による。  
屋上緑化の工法 ( )  
支柱の設置及び形式は、図示による。  
かん水装置の設置及び種類は、図示による。  
新植樹木の枯補償  
※引渡しの日から1年間 ・その他 ( 年間)  
芝及び地被類の枯補償  
※引渡しの日から1年間 ・その他 ( 年間)

その他

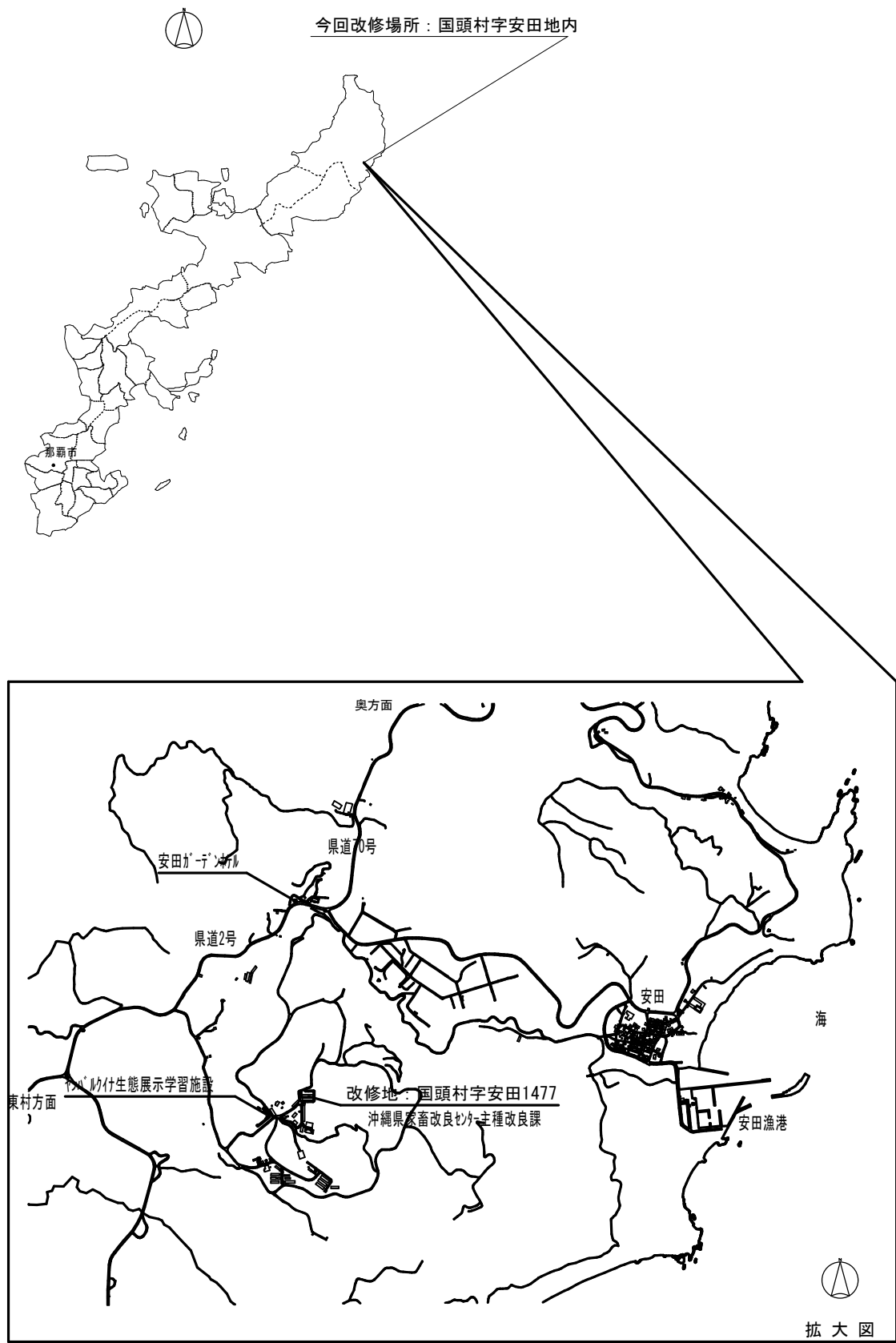
MEMO

株式会社  
翁長設計  
代表取締役 翁長武範

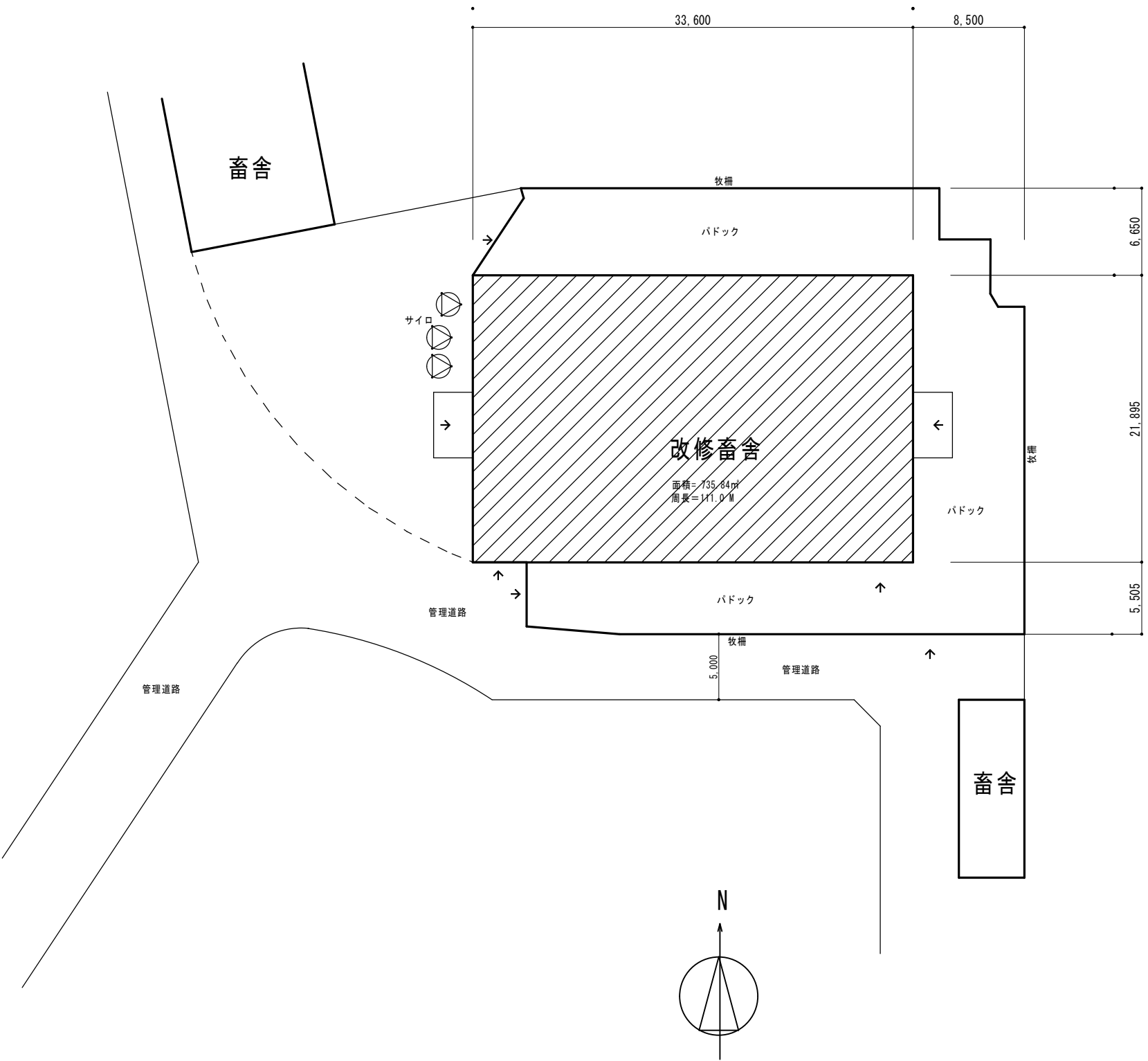
一級建築士事務所 (知事) 登録第 162-192号  
一級建築士 3 7 6 3 8 4 吉田 康平  
浦添市勢理客 3 - 2 - 2 4  
TEL 8 7 7 - 5 6 0 9  
FAX 8 7 8 - 9 4 2 9

管理建築士  
設計  
工事名称  
沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事  
工事場所  
国頭村字安田1477

日付  
令和 07 年  
07 月  
日  
図面内容  
特記仕様書-6  
NO SCALE  
図面番号  
SPCA-06



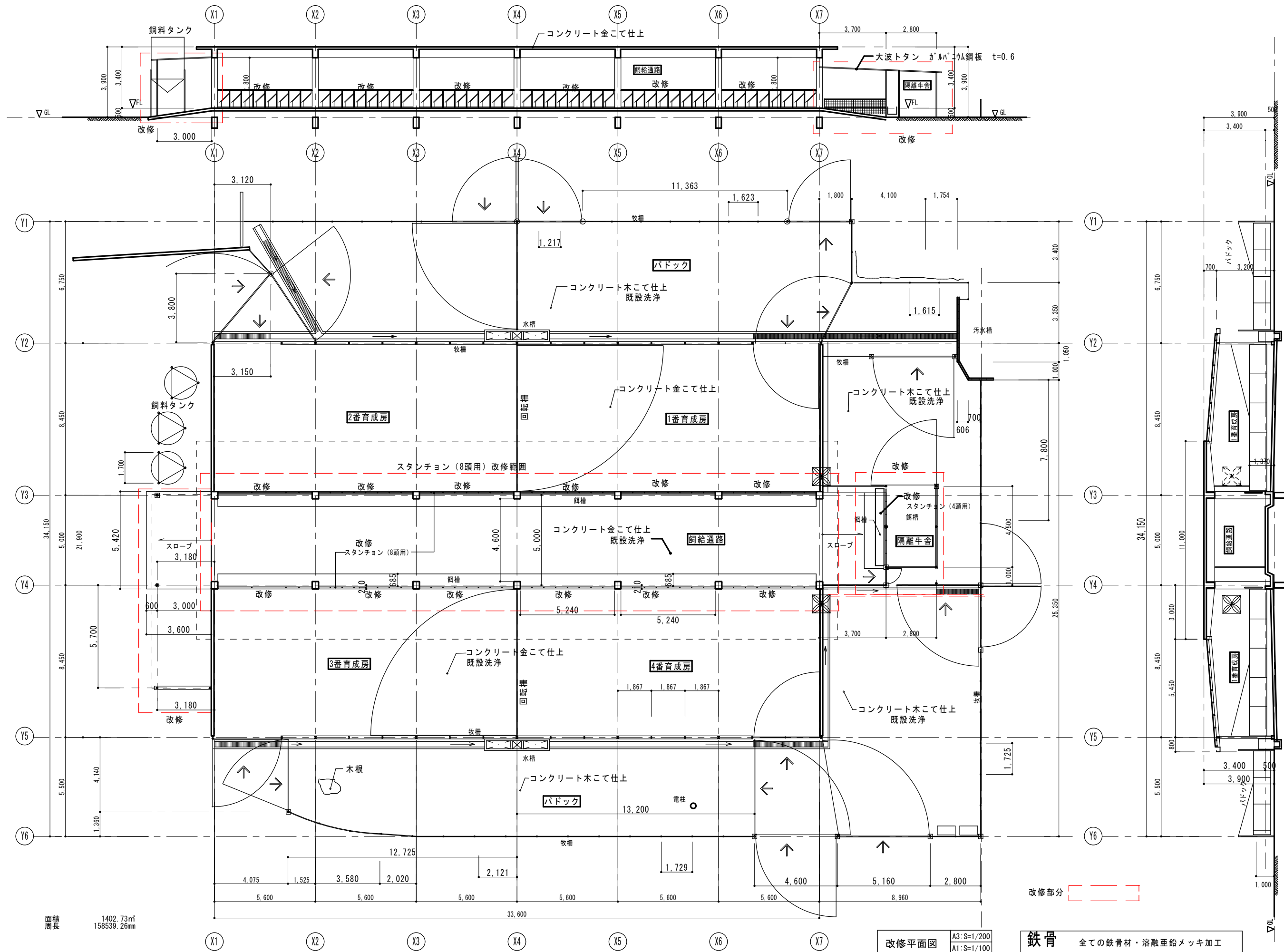
案内図 NO SCALE

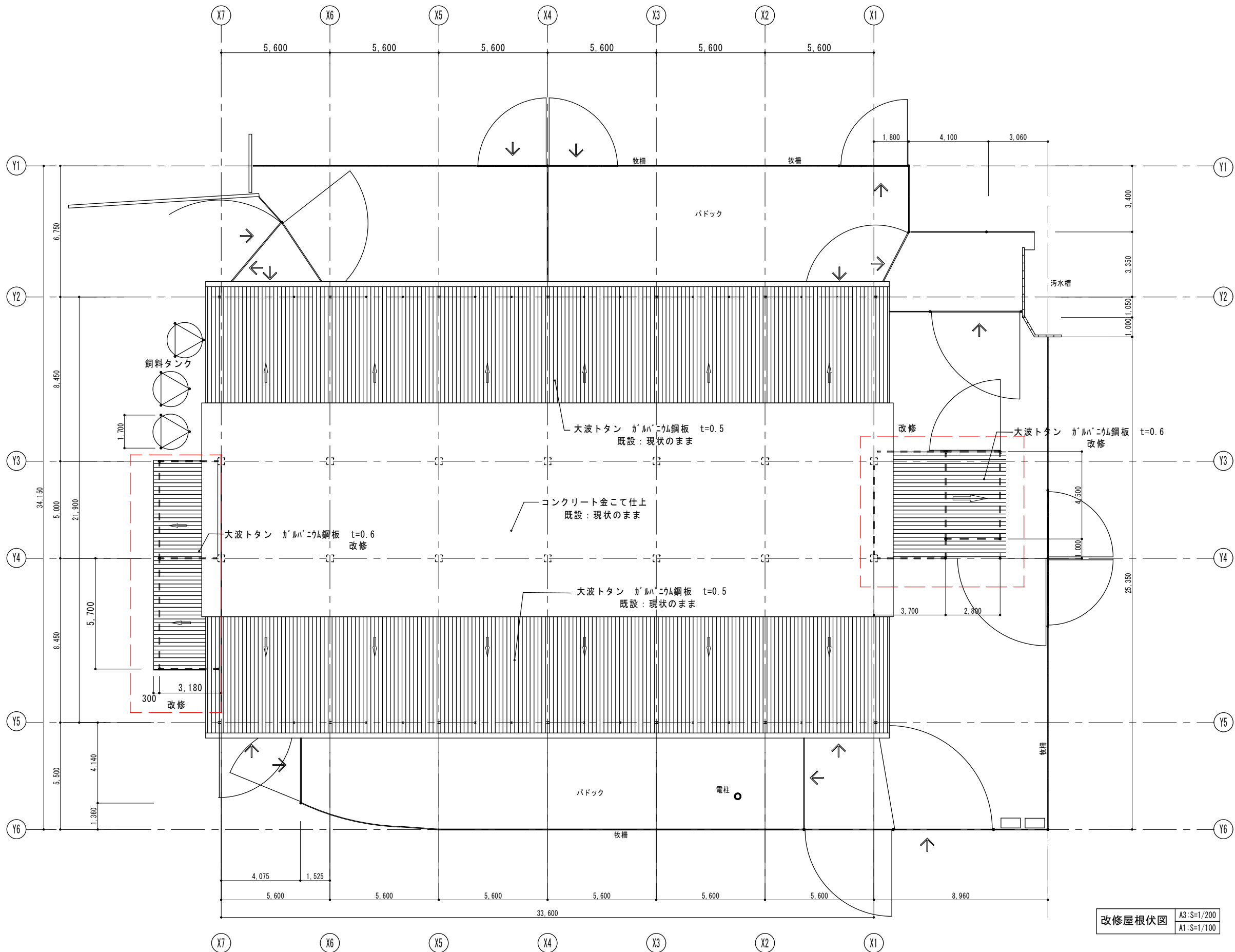


配置図 A3:S=1/400 A1:S=1/200

MEMO		一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称 沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容 配置図 A1 : S = 1/200 (A3 : 1/400)	図面番号 A-01
					工事場所 国頭村字安田1477			



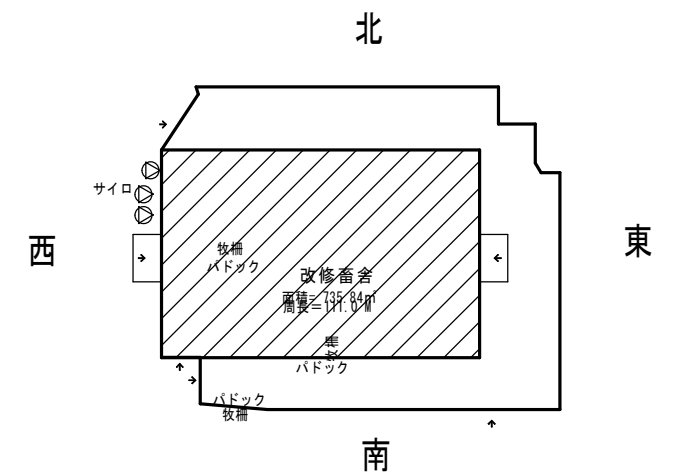
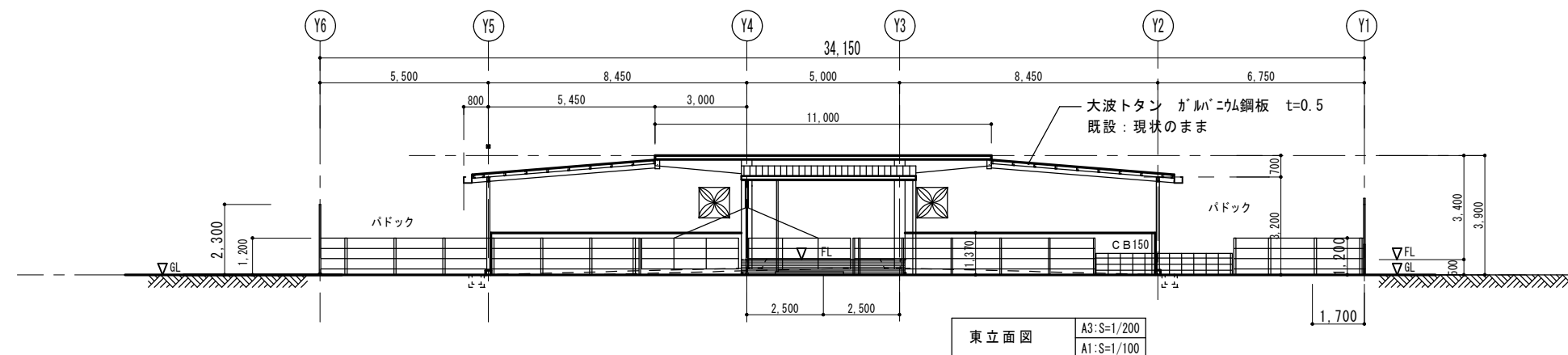
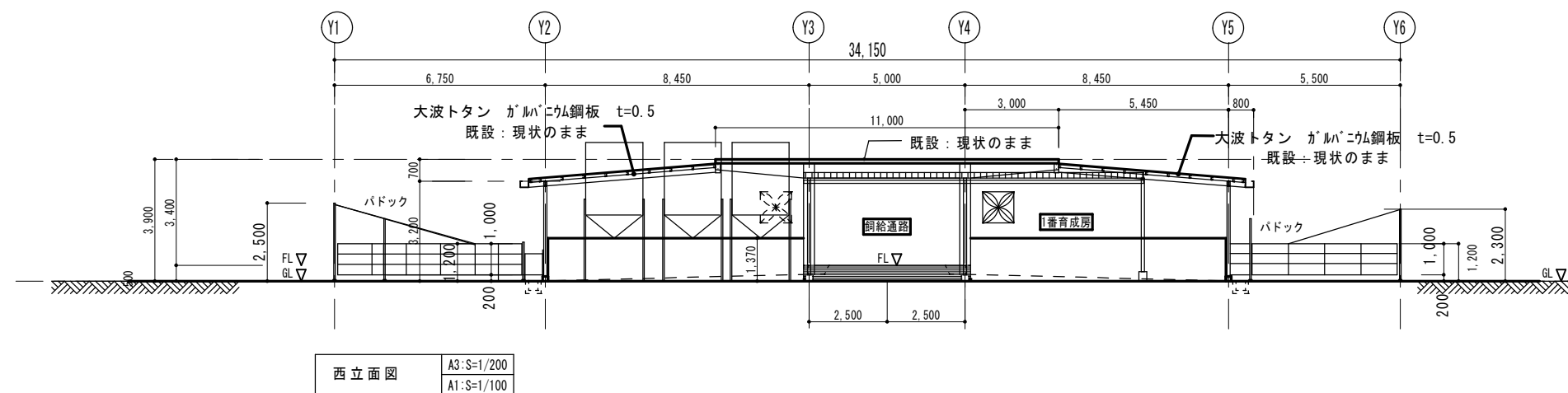
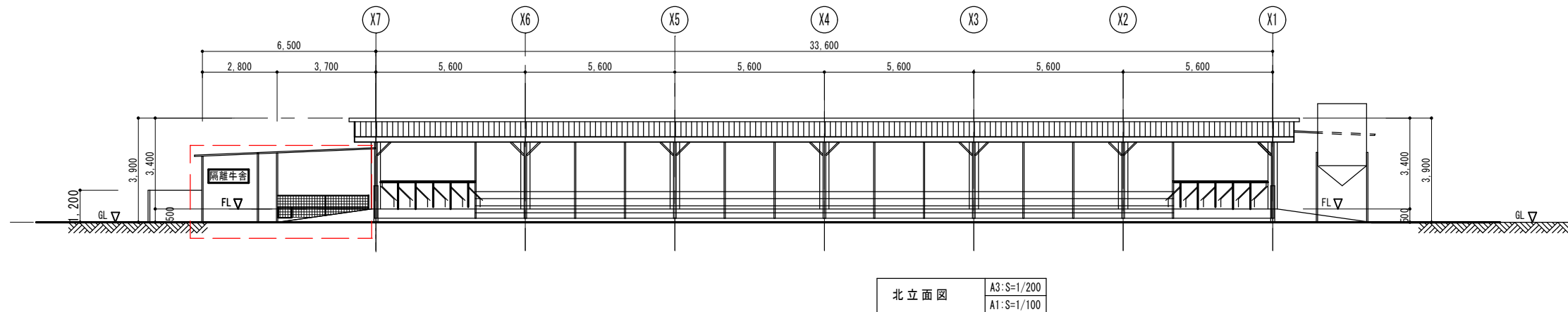




改修屋根伏図

改修部分

MEMO	 <div>株式会社 翁長設計 代表取締役 翁長武範</div>	一級建築士事務所 (知事) 登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容 改修屋根伏図	図面番号 A-03
					工事場所 国頭村字安田1477			

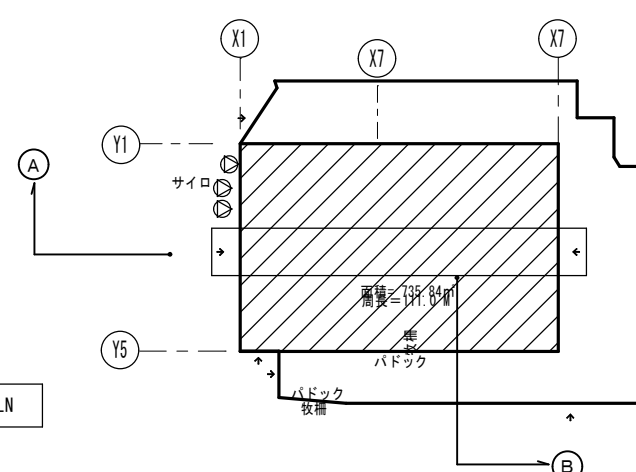
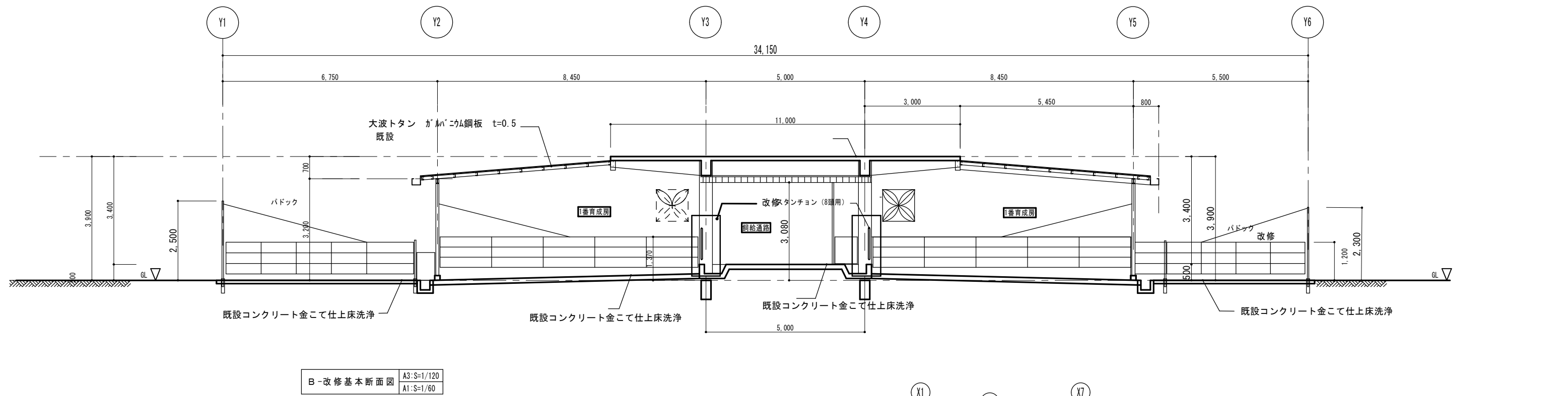
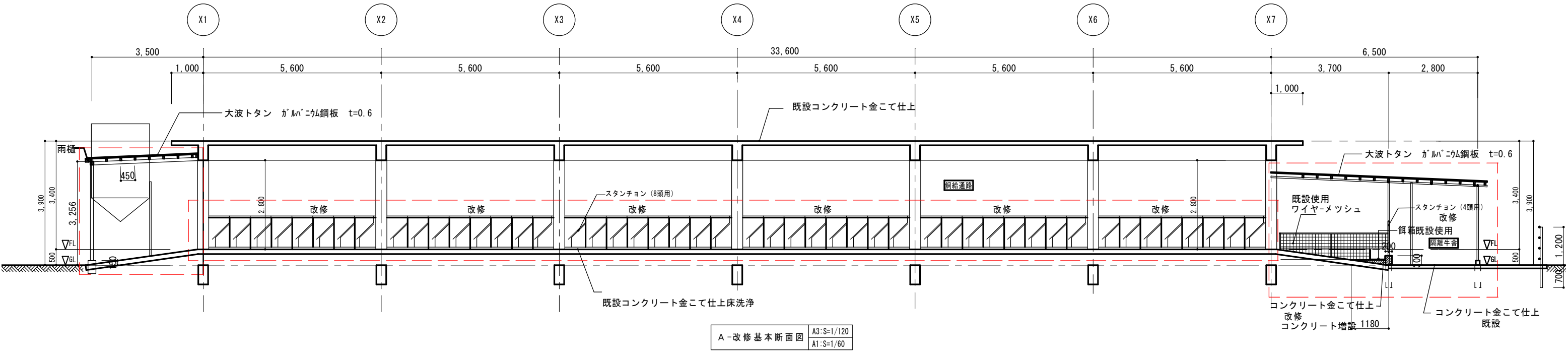


## キープラン

改修部分

改修立面图	A3:S=1/200
	A1:S=1/100

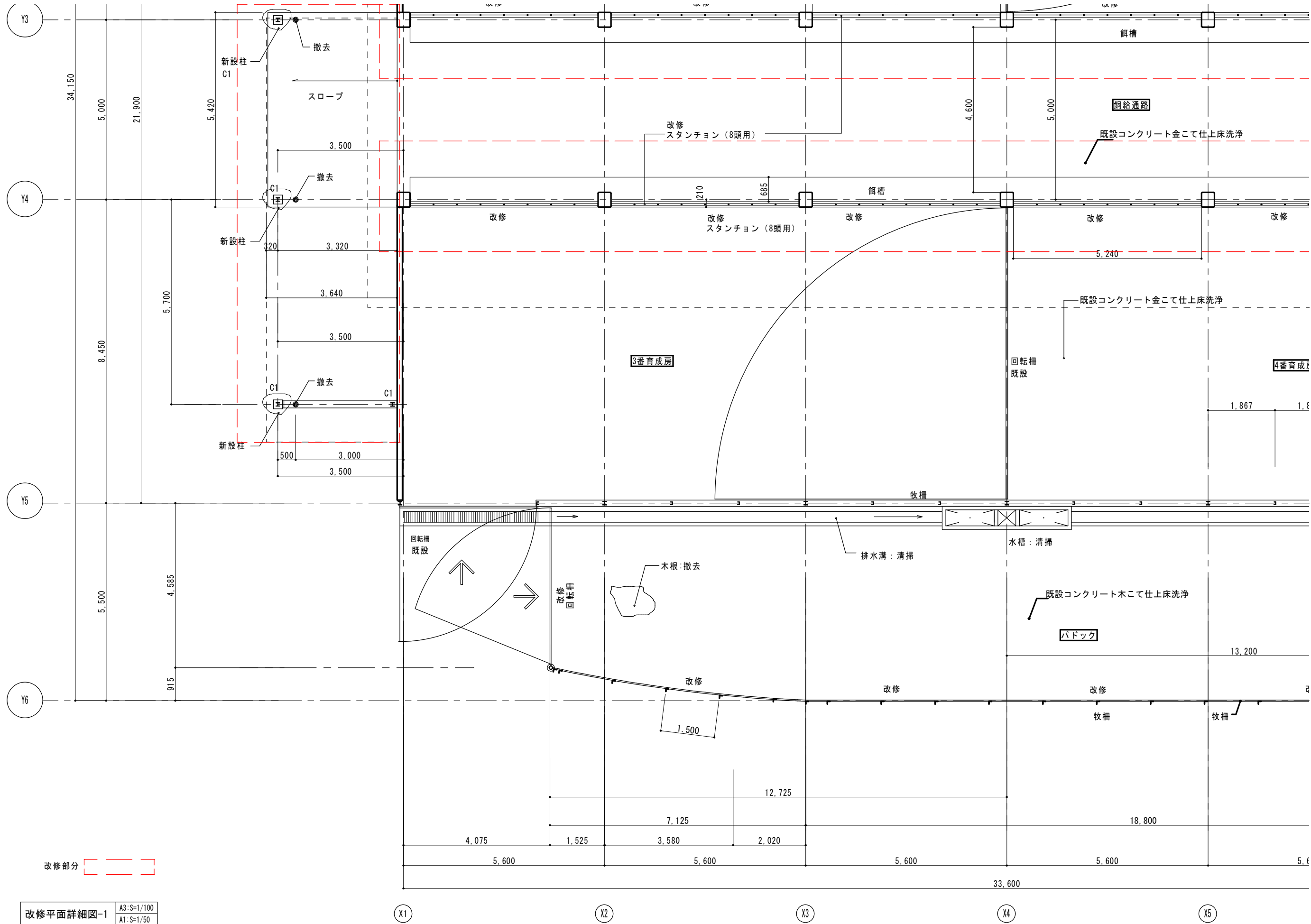
MEMO	 株式会社 <b>翁長設計</b> ●●● 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称 沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事 工事場所 国頭村字安田1477	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容 改修立面図 A1 : S = 1/100 (A3 : 1/200)	図面番号 A-04
------	---	---	-------	----	---	----------------------------	--	--------------

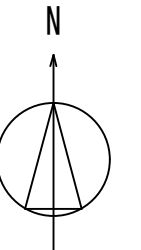


改修部分

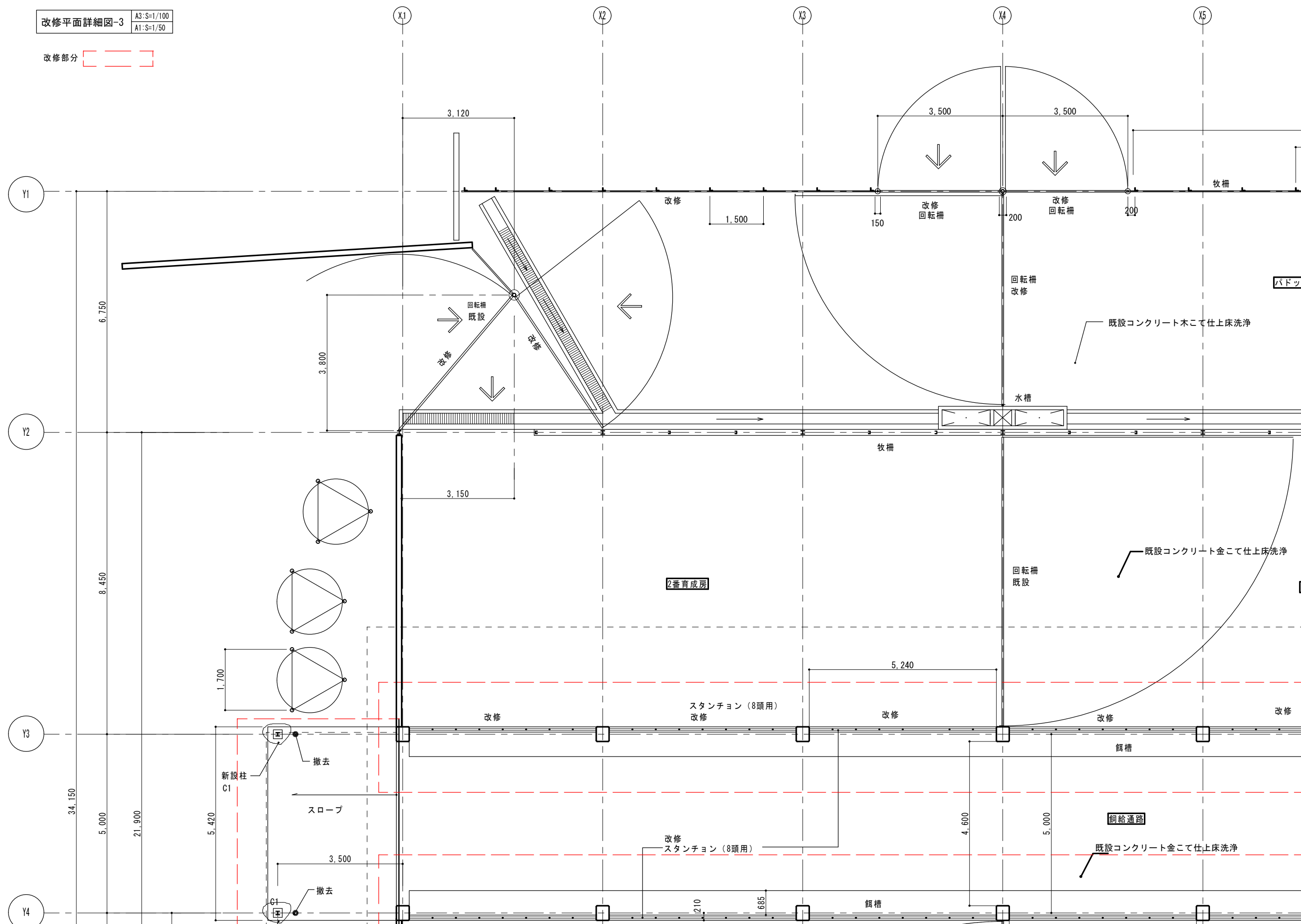
改修基本断面図  
A3:S=1/200  
A1:S=1/100

MEMO	 <div>株式会社 <b>翁長設計</b> 代表取締役 翁長武範</div>	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 07 日	図面内容 改修基本断面図  A1 : S = 1/60 (A3 : 1/120)	図面番号 <b>A-05</b>
					工事場所 国頭村字安田1477			

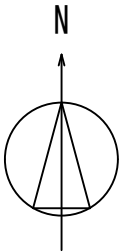


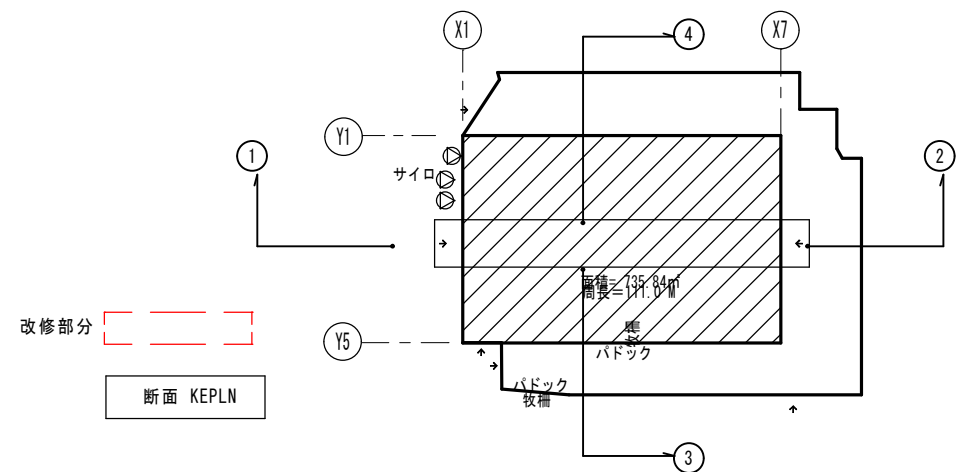
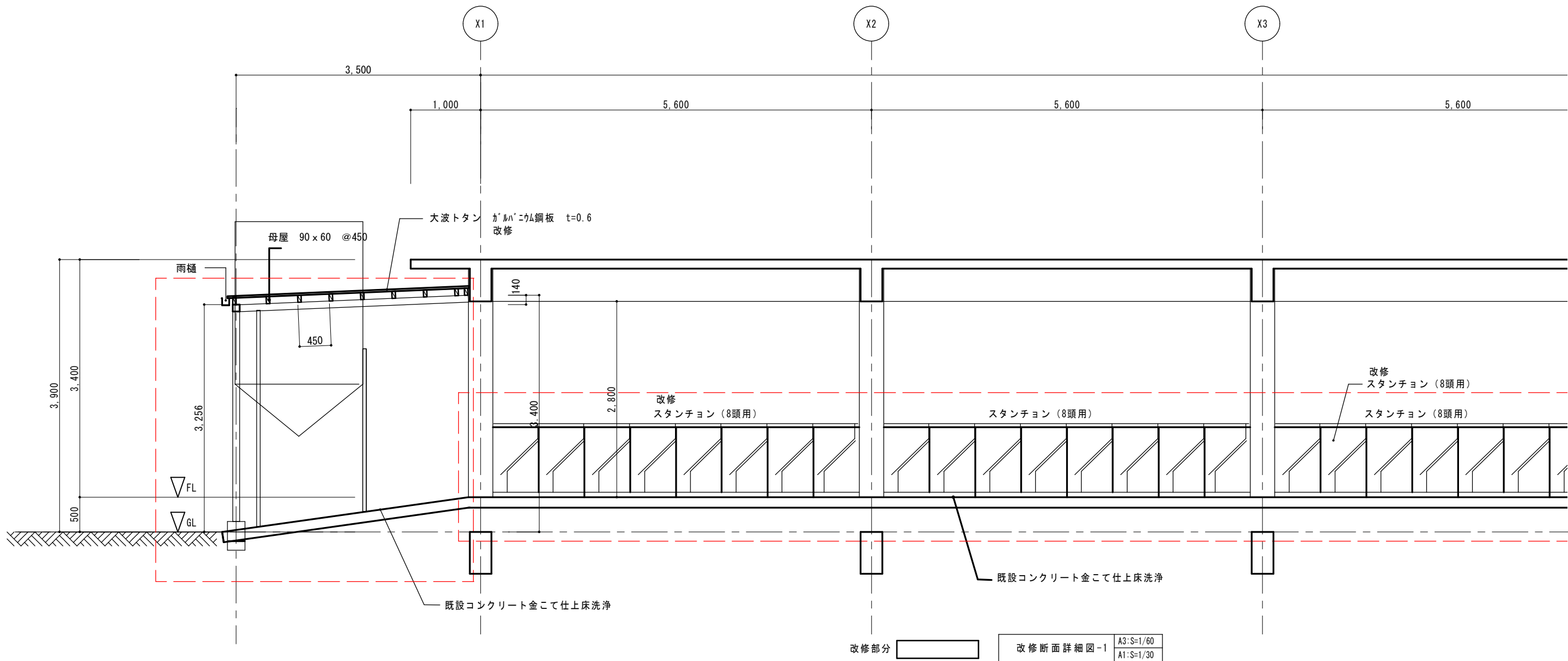


MEMO	 株式会社 <b>翁長設計</b> 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付	図面内容	図面番号
					沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事 工事場所 国頭村字安田1477	令和 07 年 07 月 日	改修平面詳細図-2 A1 : S = 1/50 (A3 : 1/100)	

改修部分 



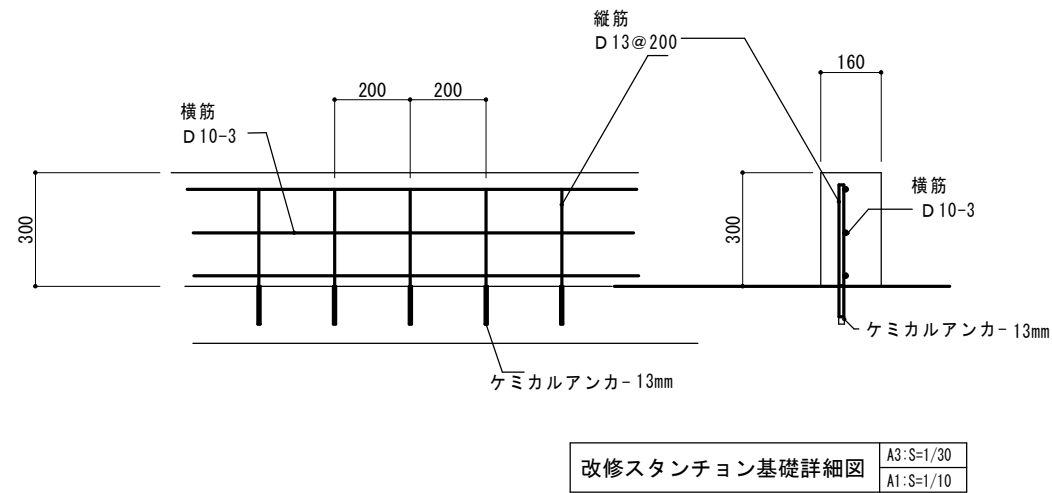
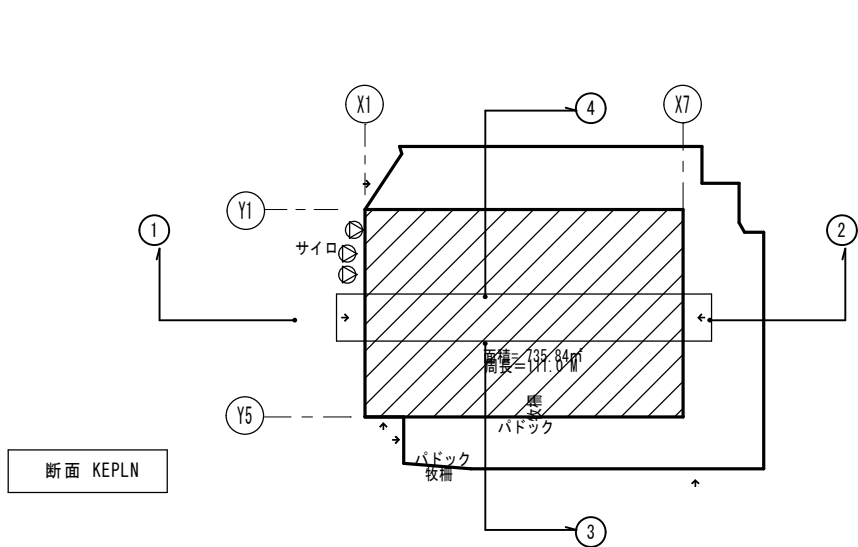
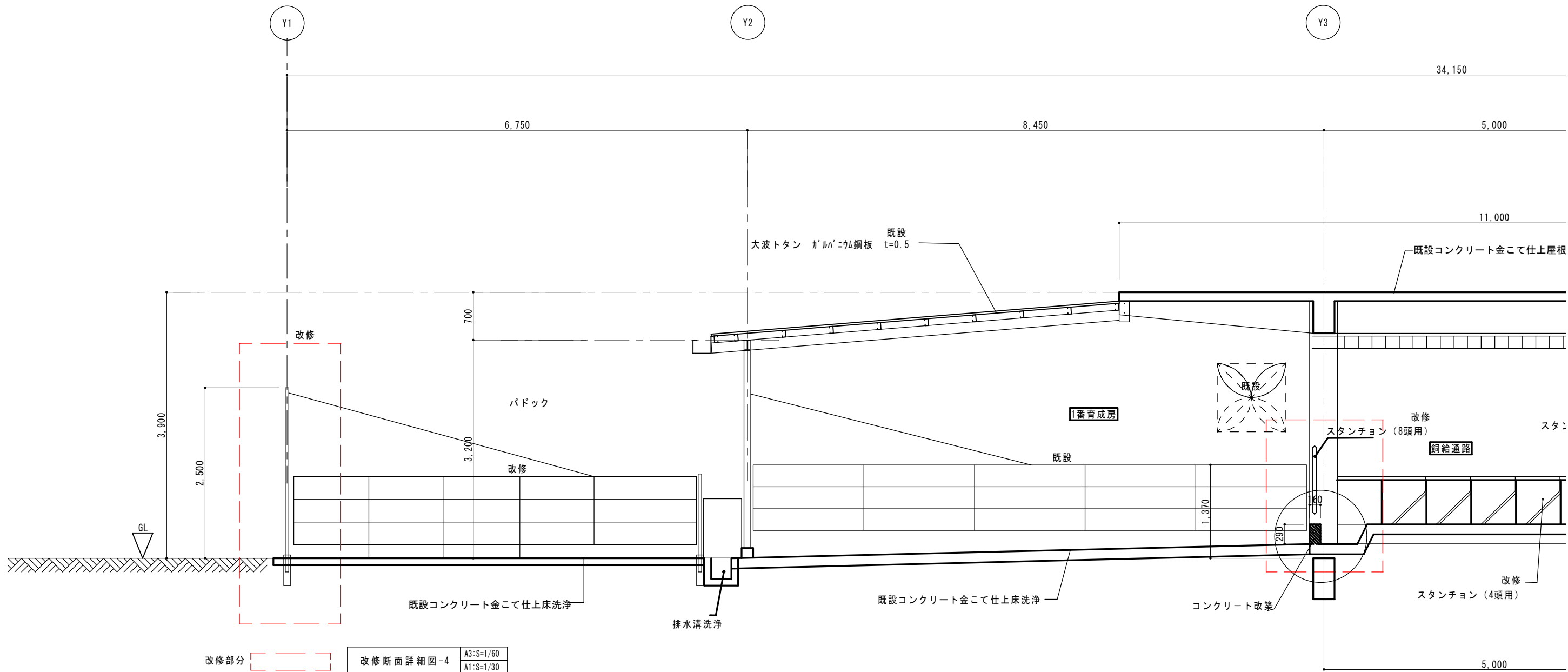




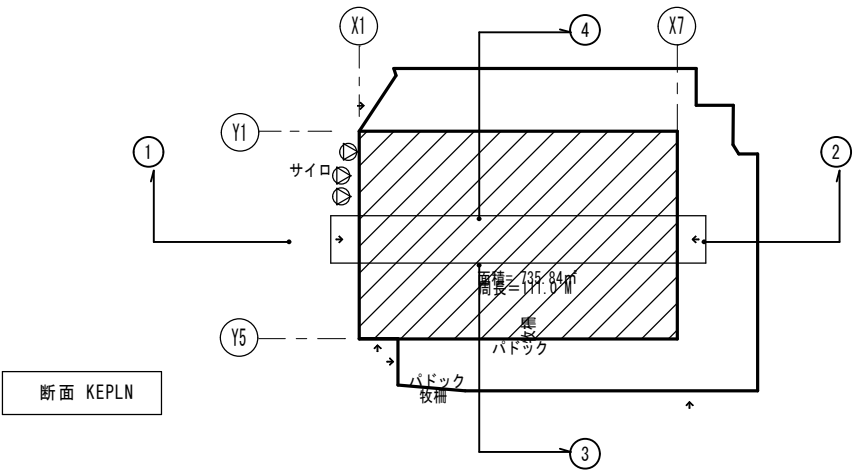
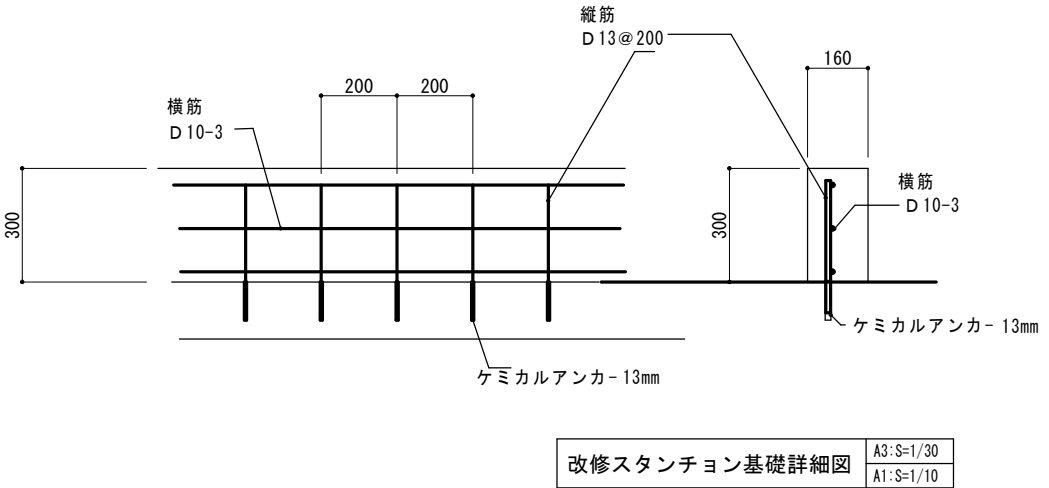
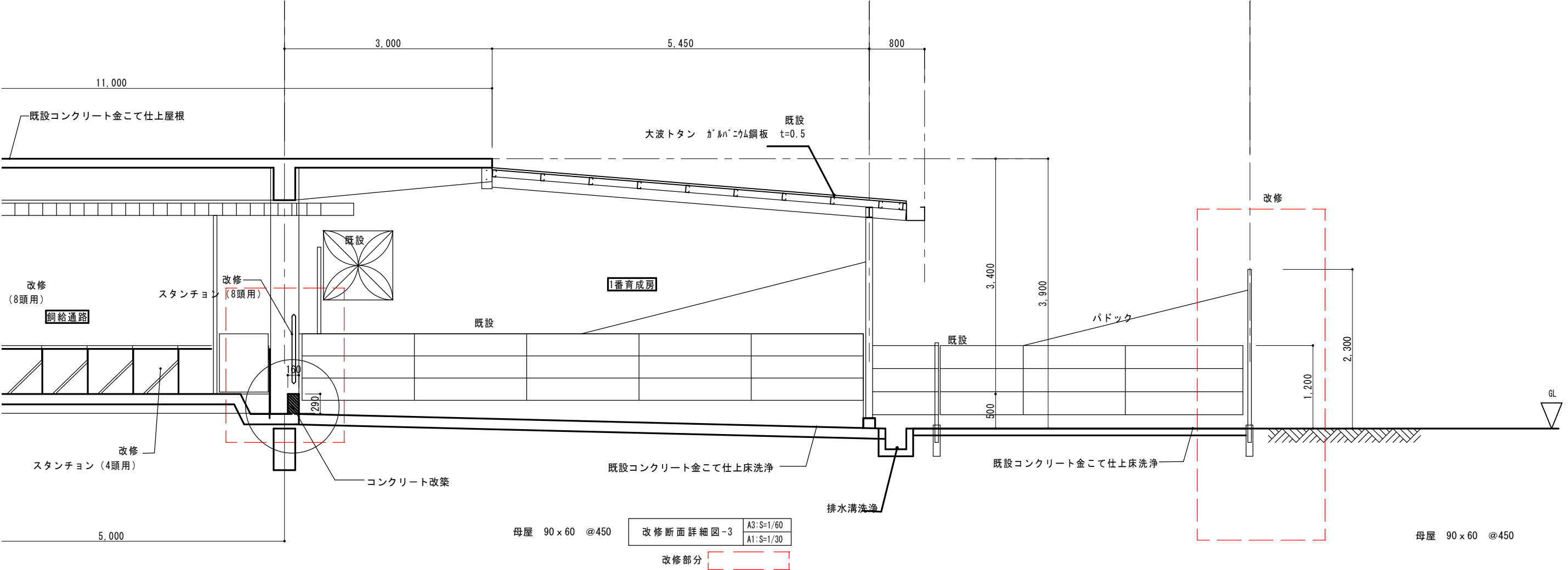


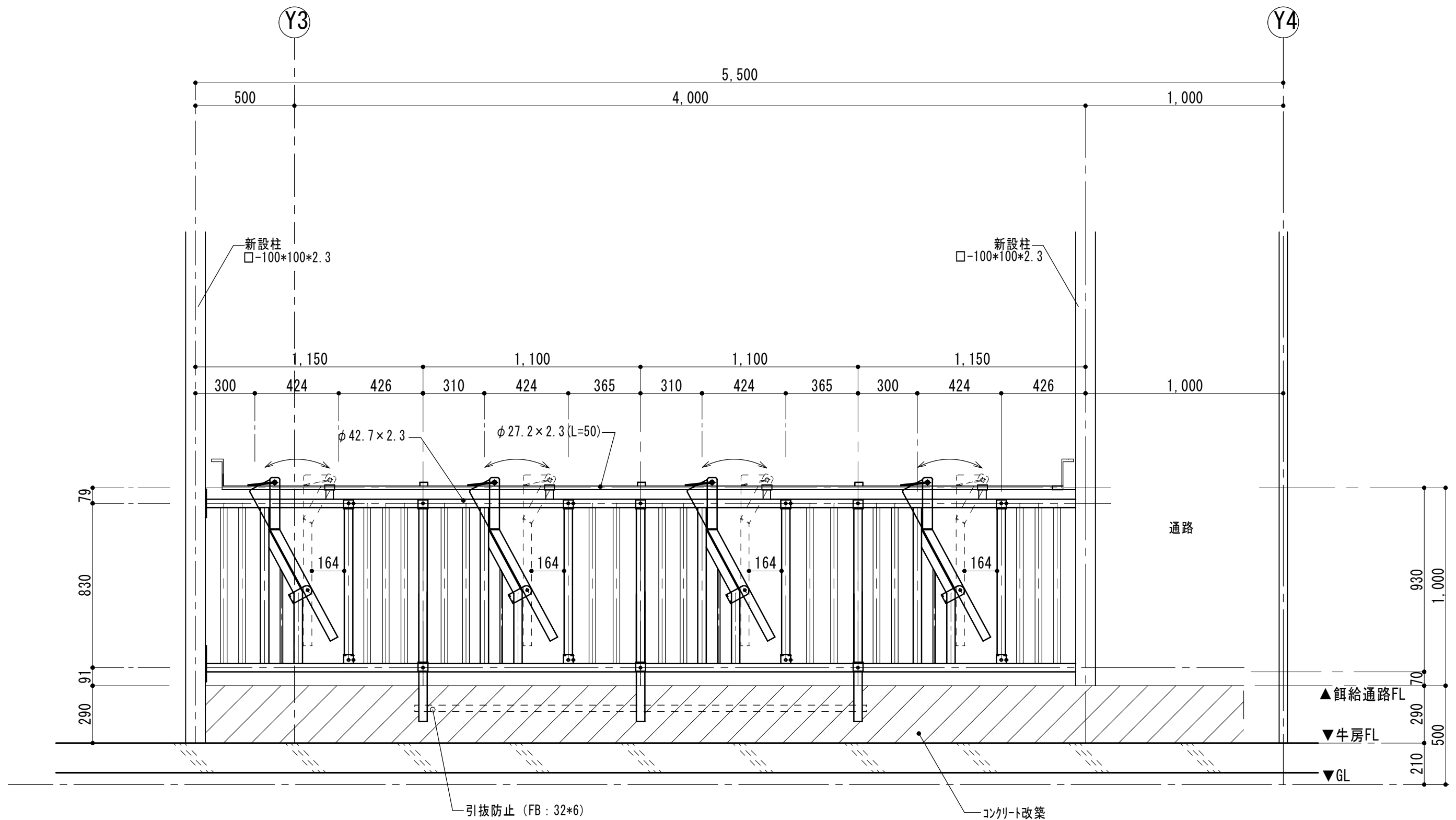
改修断面詳細図-2	A3:S=1/60
	A1:S=1/30

MEMO	 株式会社 <b>翁長設計</b> 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付	図面内容	図面番号
					沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事 工事場所 国頭村字安田1477	令和 07 年 07 月 日	改修断面詳細図-2 A1 : S = 1/30 (A3 : 1/60)	



MEMO		株式会社 <b>翁長設計</b> 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所 (知事) 登録第 162-192号 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容 改修断面詳細図-3	図面番号 A-12
						工事場所			
						国頭村字安田1477		A1:S=1/30 (A3:1/60)	



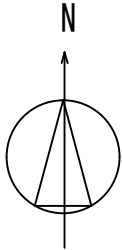


スタンション図 (4頭用) S=1/20

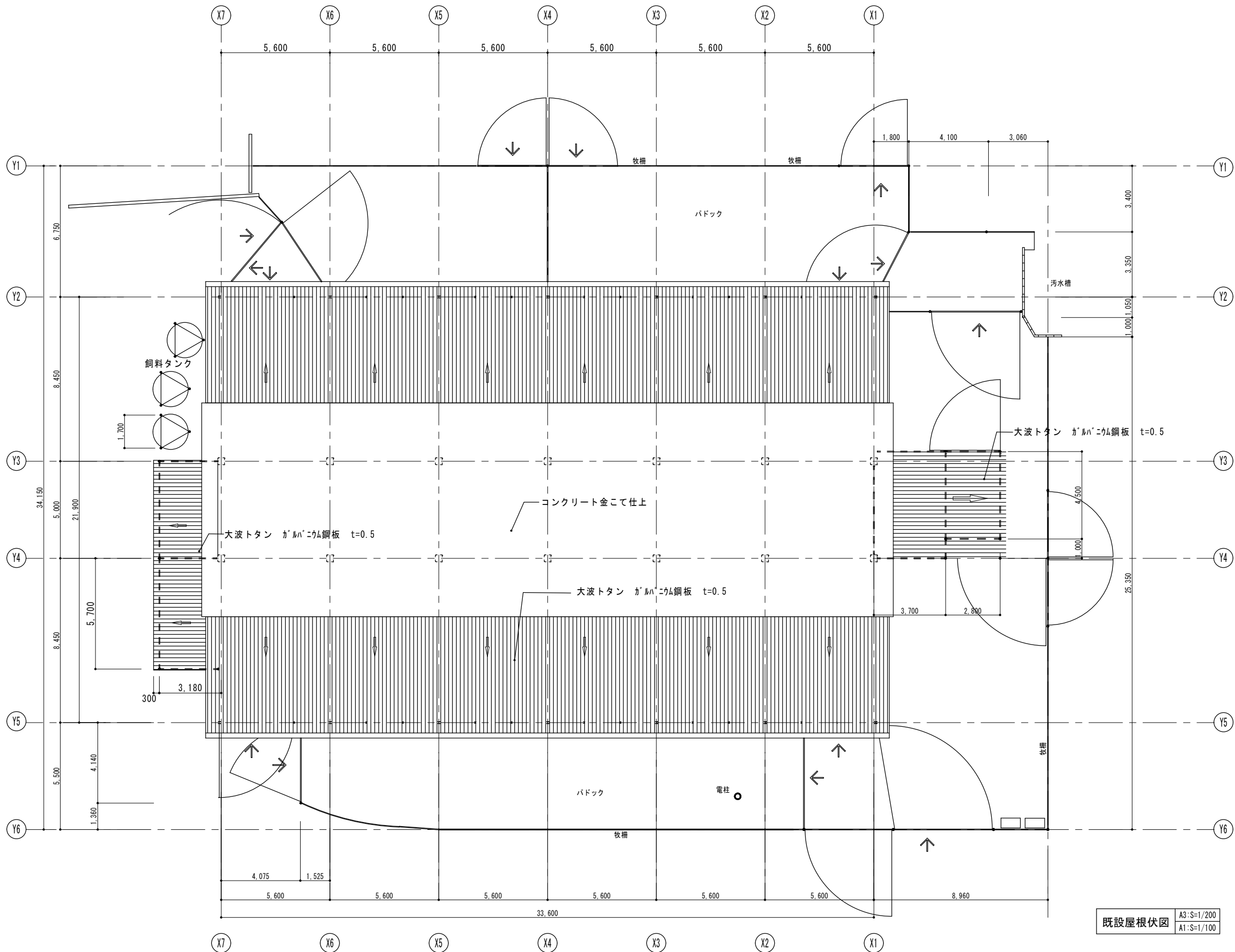
鉄骨 全ての鉄骨材・溶融亜鉛メッキ加工



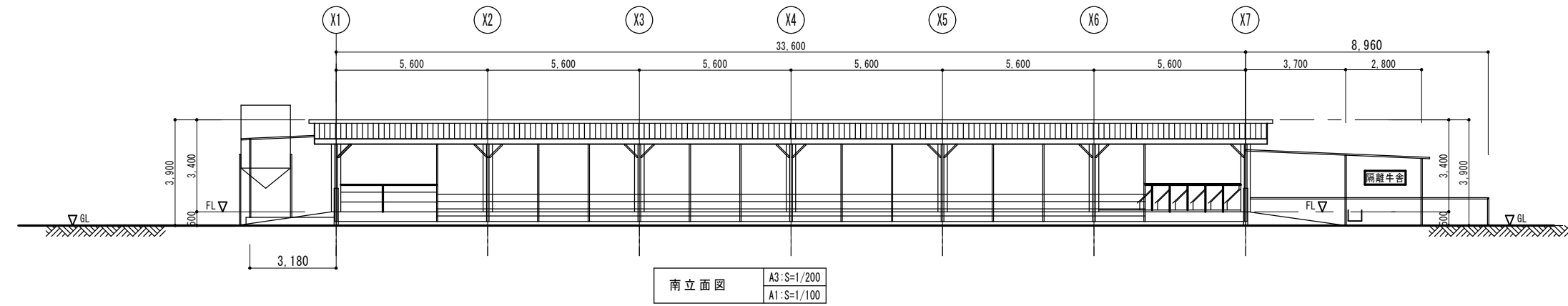




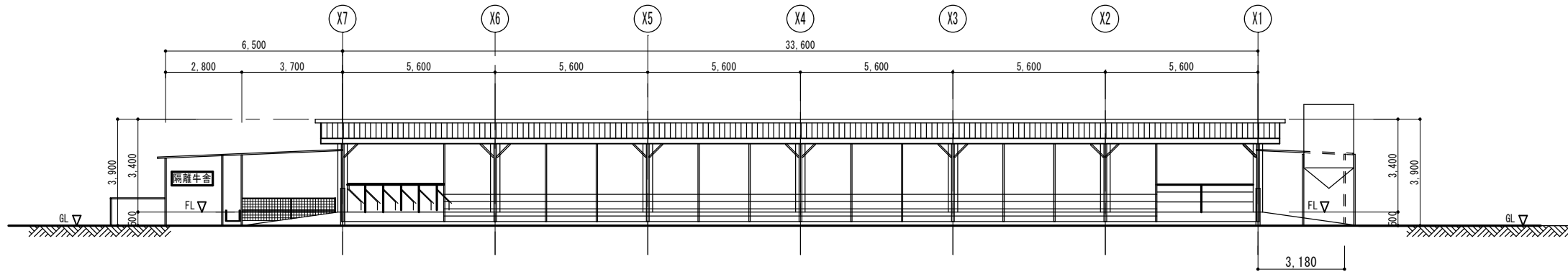
MEMO	 <div>株式会社 <b>翁長設計</b> ● ● ● 代表取締役 翁長 武範</div> <div>一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 3 7 6 3 8 4 吉田 康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 8 7 7 - 5 6 0 9 FAX 8 7 8 - 9 4 2 9</div>	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容	図面番号
				沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事 工事場所 国頭村字安田1477		既設平面図 A1 : S = 1/100 (A3 : 1/200)	



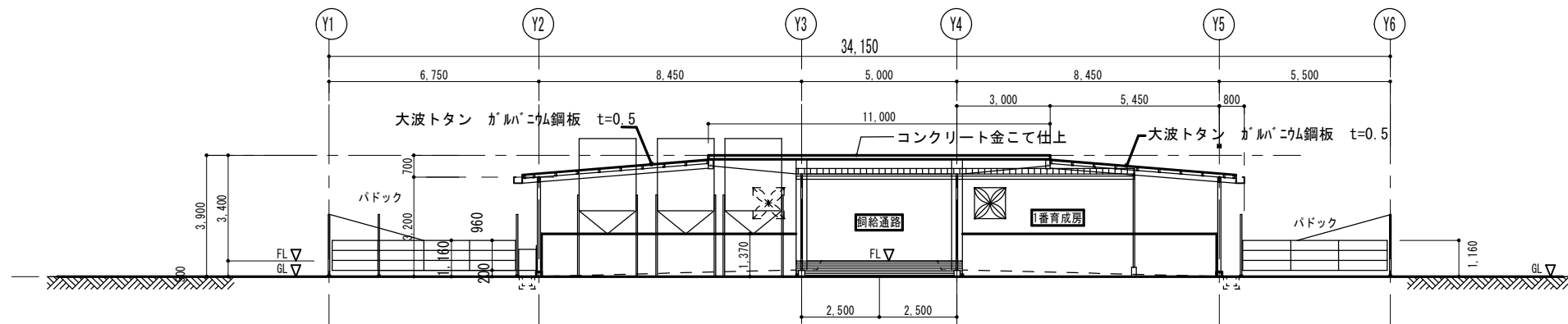
既設屋根伏図  
A3:S=1/200  
A1:S=1/100



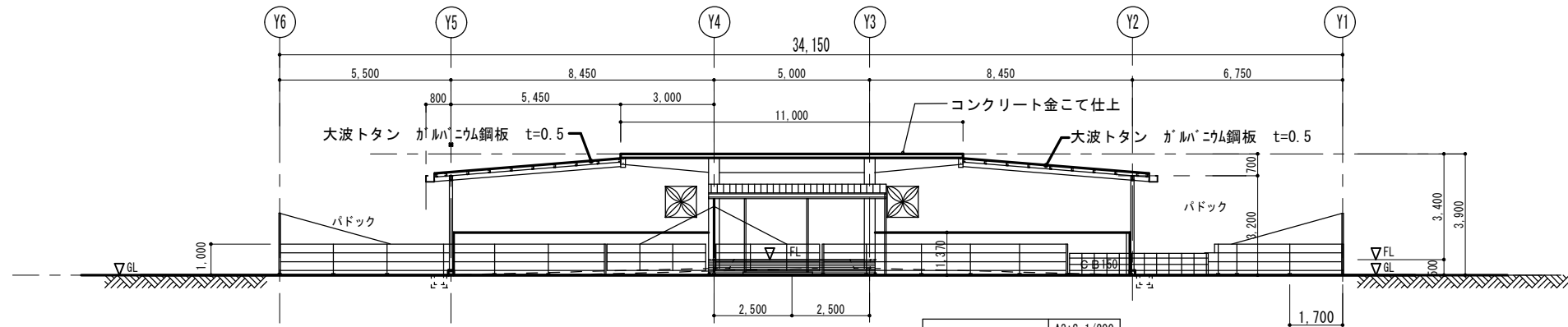
南立面図  
A3:S=1/200  
A1:S=1/100



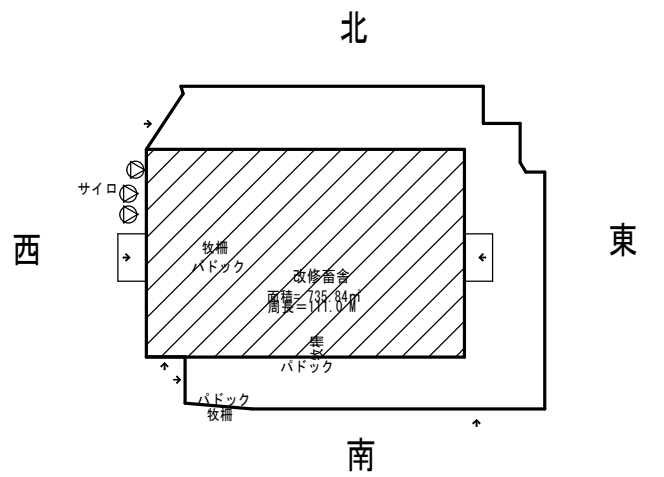
北立面図  
A3:S=1/200  
A1:S=1/100



西立面図  
A3:S=1/200  
A1:S=1/100



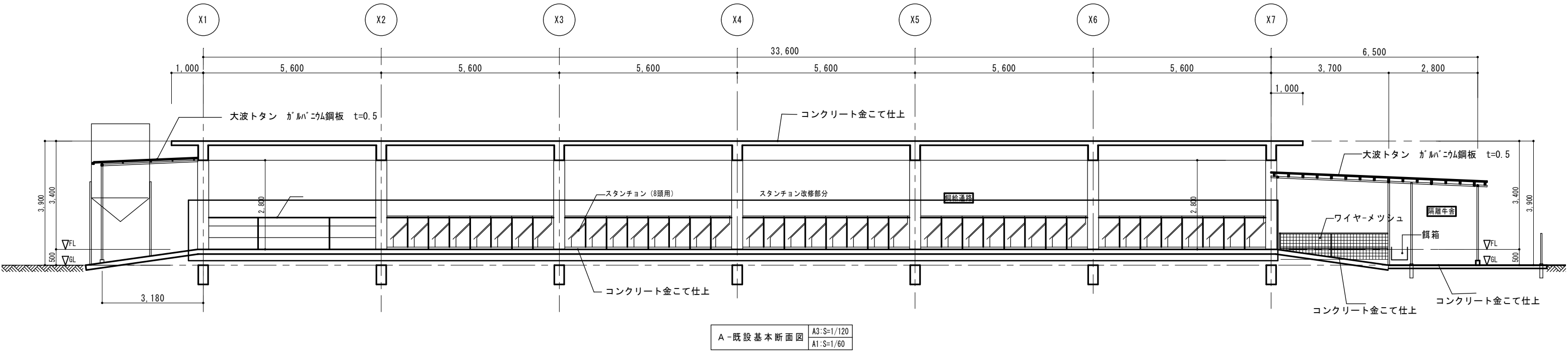
東立面図  
A3:S=1/200  
A1:S=1/100



キープラン

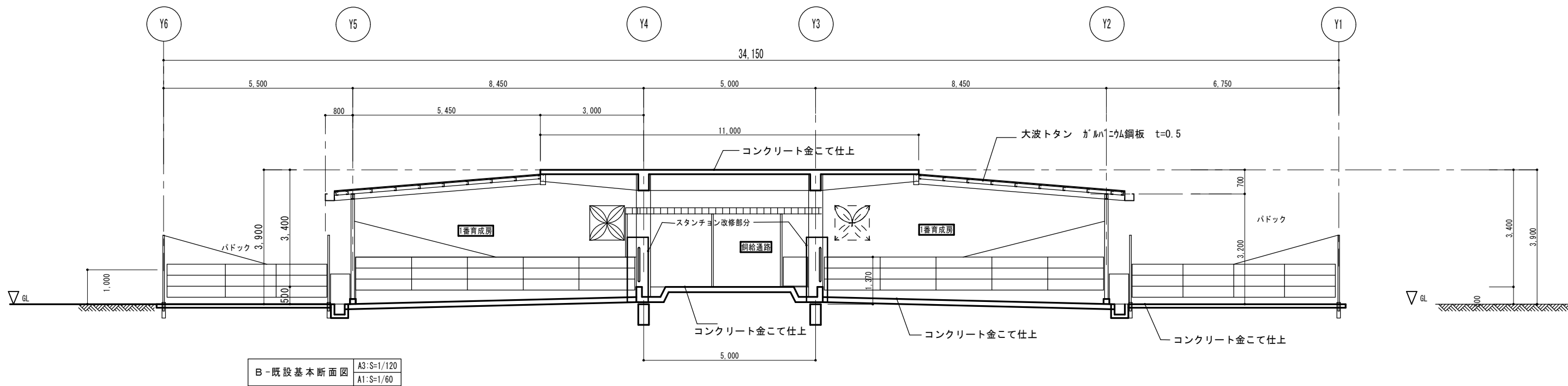
既設立面図  
A3:S=1/200  
A1:S=1/100

MEMO		株式会社 <b>翁長設計</b> ●●● 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所 (知事) 登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容 既設立面図 A1:S=1/100 (A3:1/200)	図面番号 A-18
						工事場所			
						国頭村字安田1477			



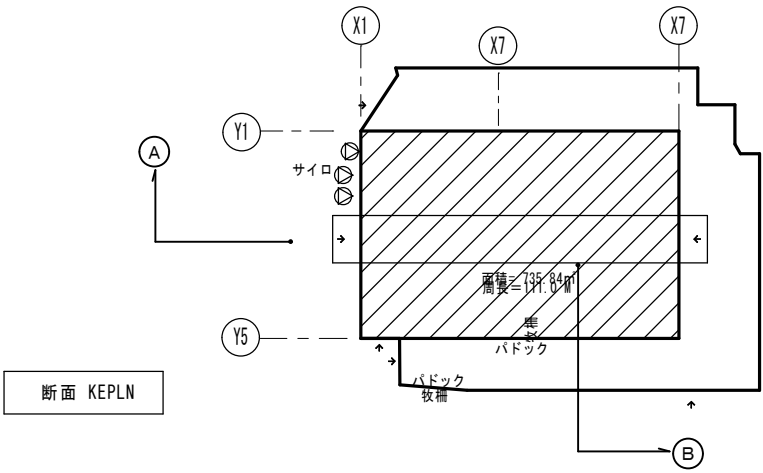
A-既設基本断面図

A3:S=1/120
A1:S=1/60



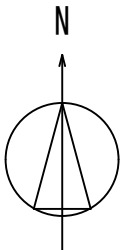
B-既設基本断面図

A3:S=1/120
A1:S=1/60



既設基本断面図

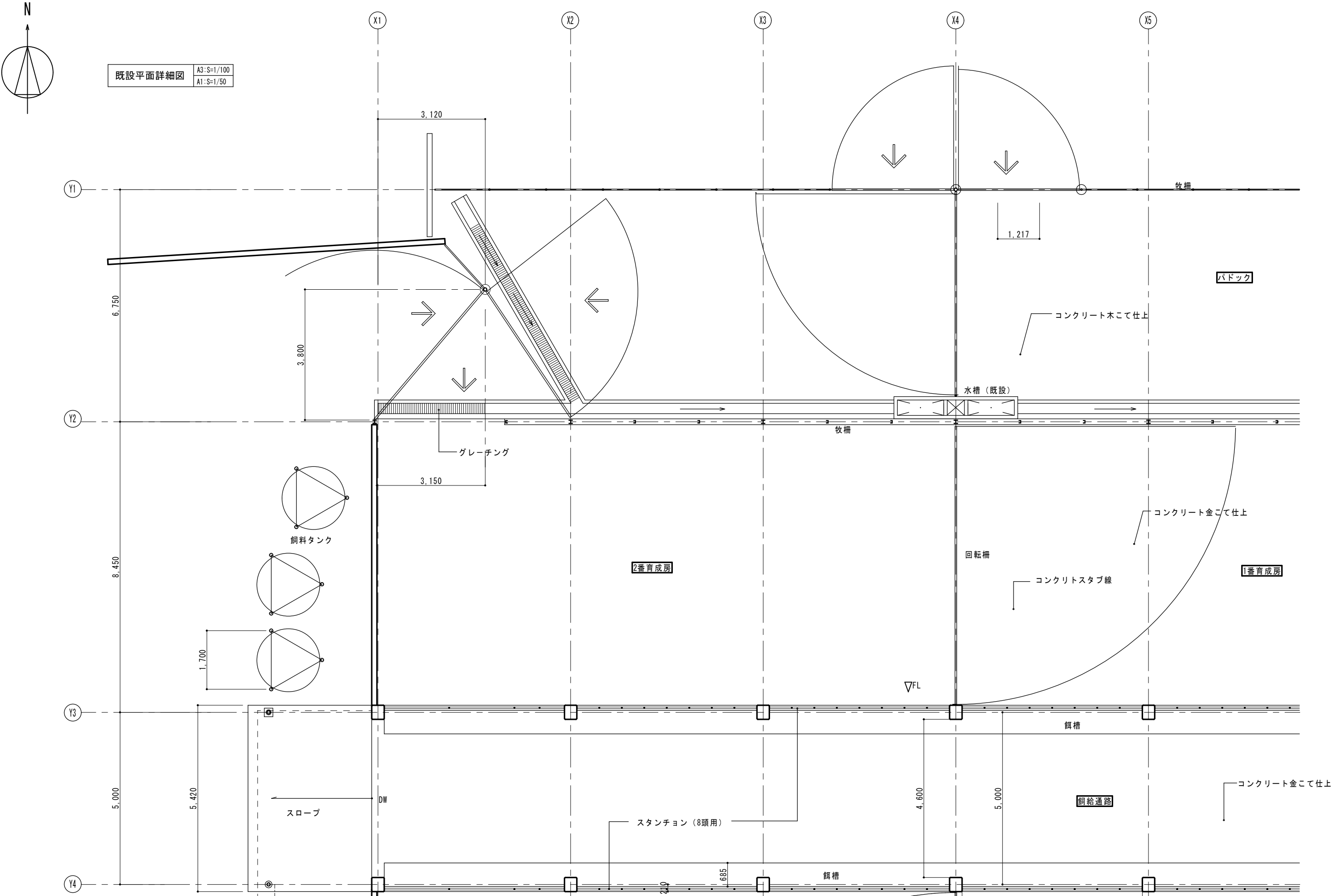
A3:S=1/200
A1:S=1/100



A3:S=1/100
A1:S=1/50

MEMO	 <div>株式会社 <b>翁長設計</b> ●●● 代表取締役 翁長武範</div>	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容	図面番号 <b>A-20</b>
		一級建築士 376384 吉田康平			沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事		既設平面詳細図-1	
		浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429			工事場所 国頭村字安田1477		A1：S＝ 1/50 （A3：1/100）	

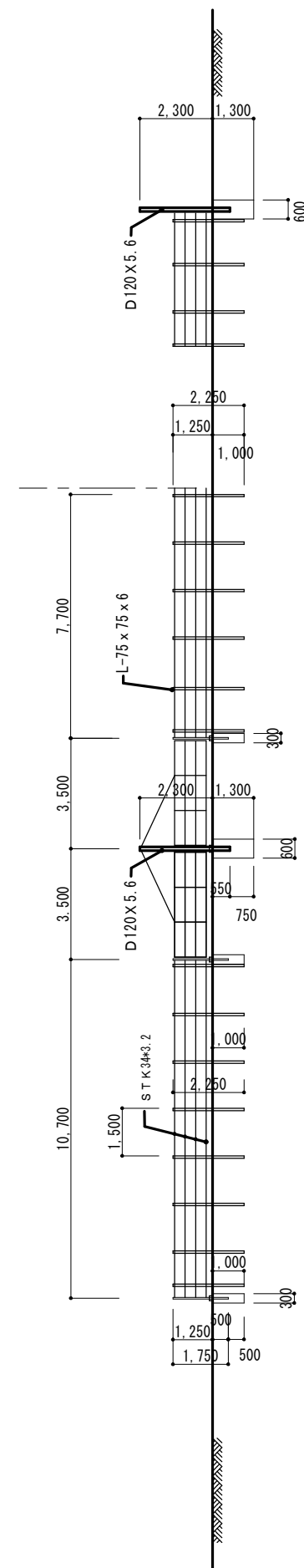






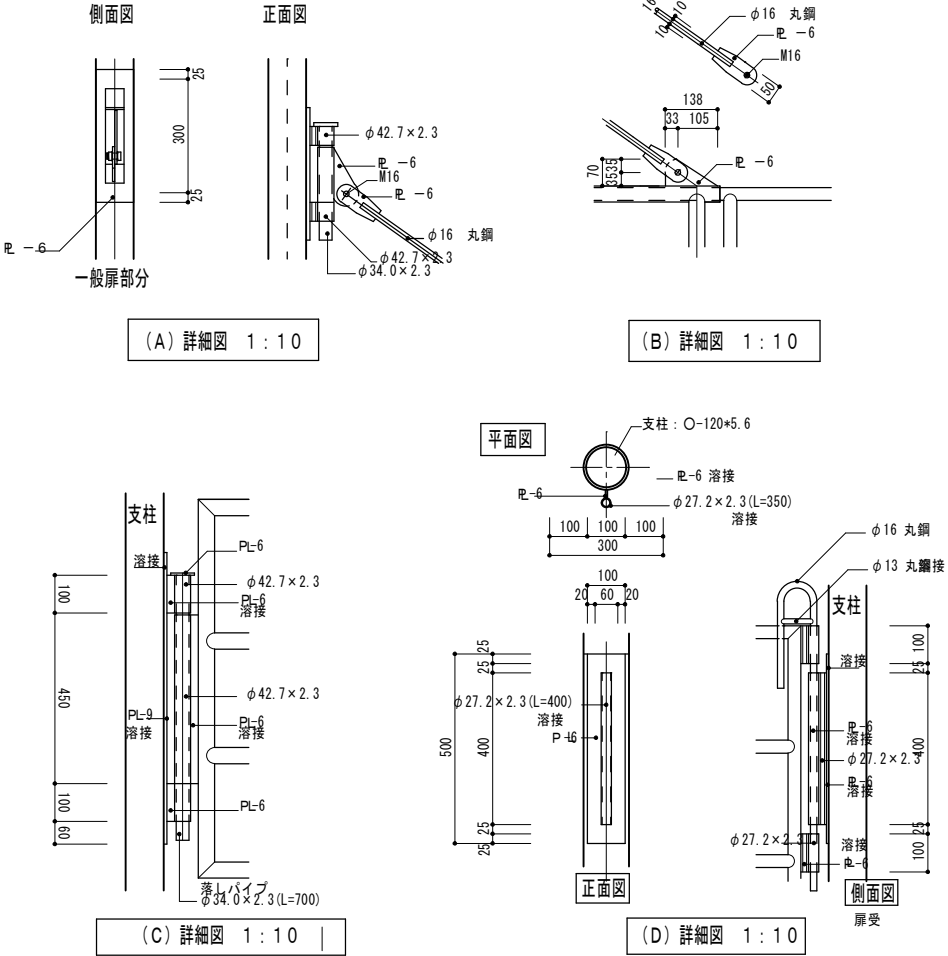
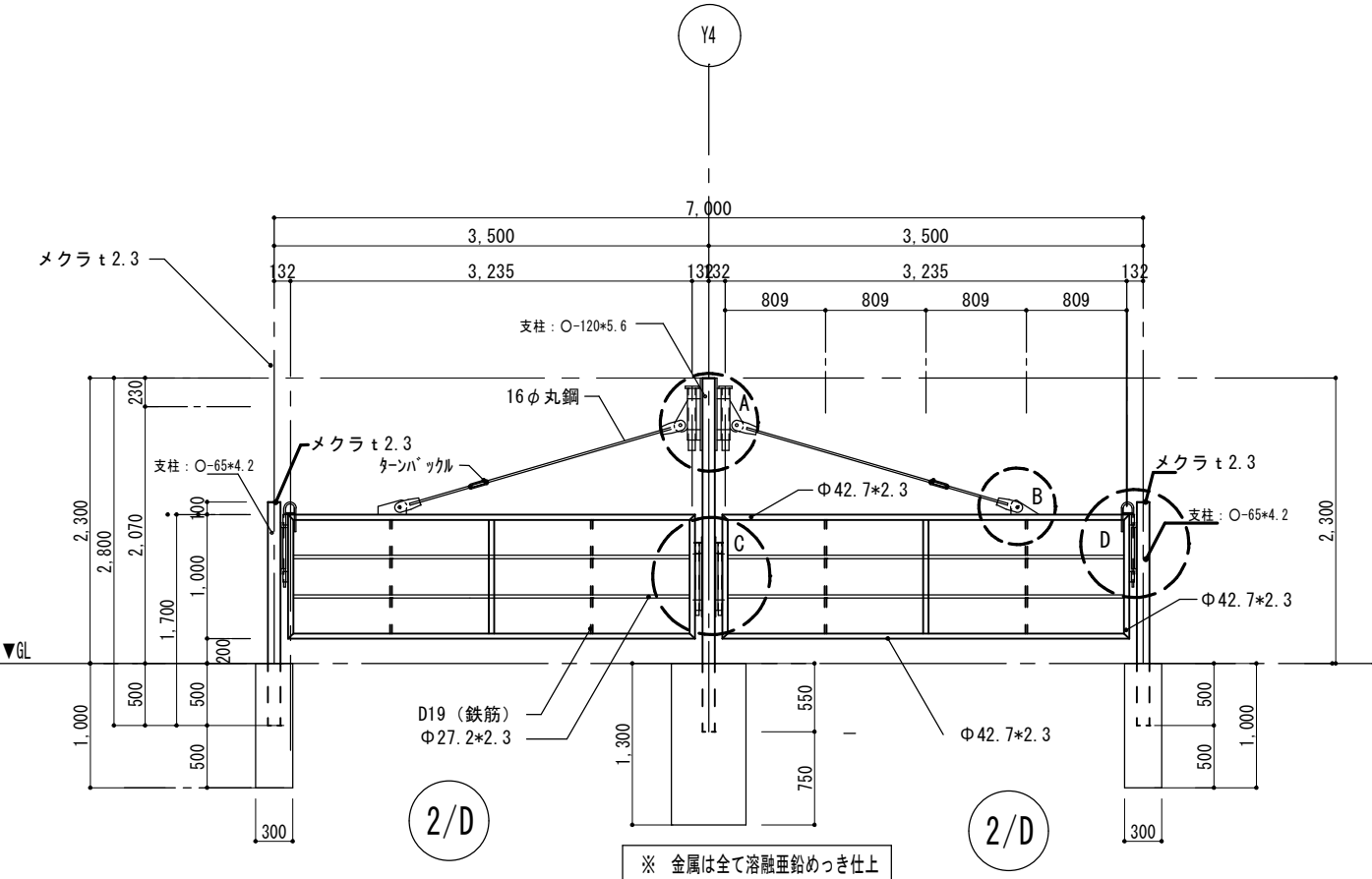
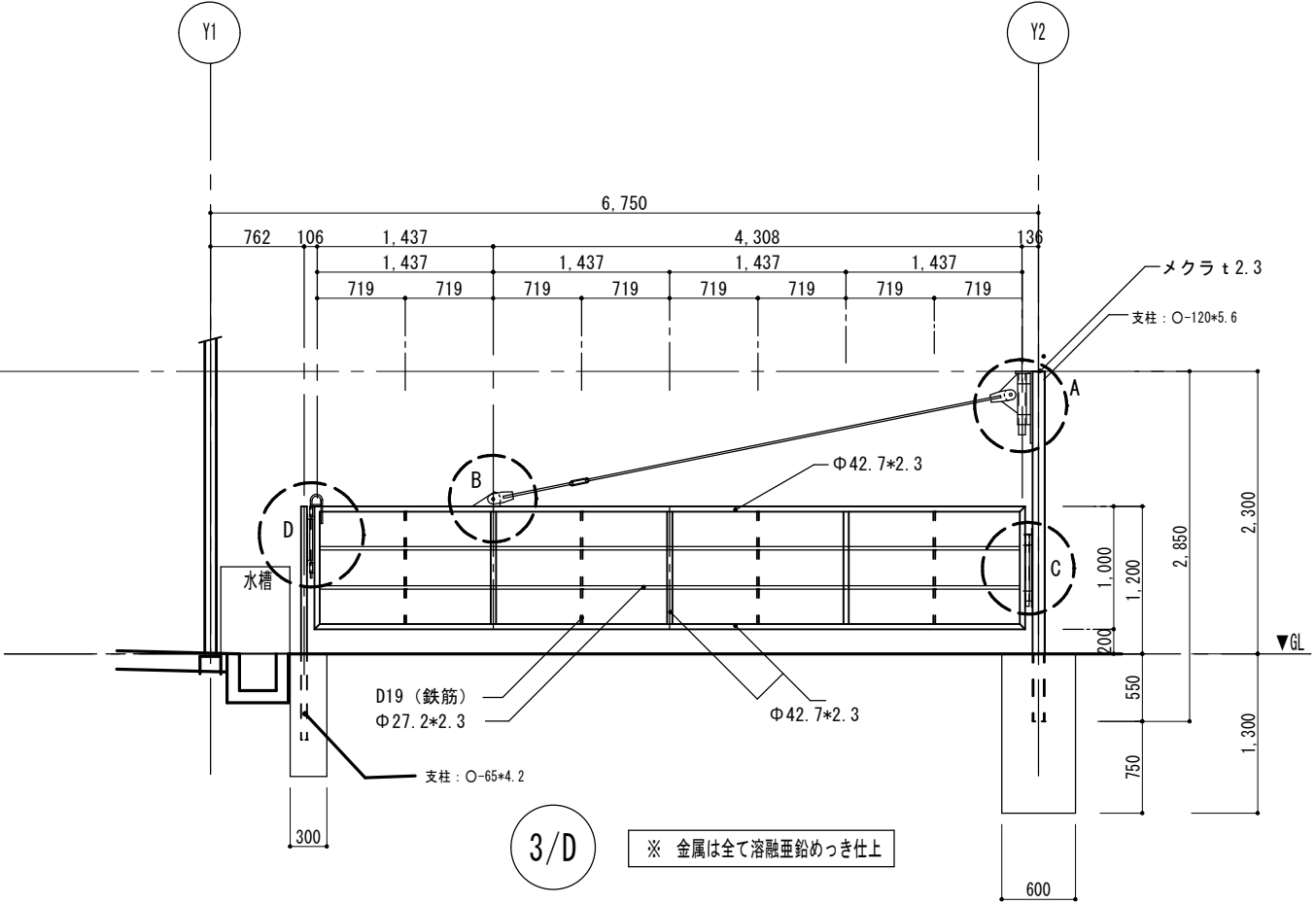
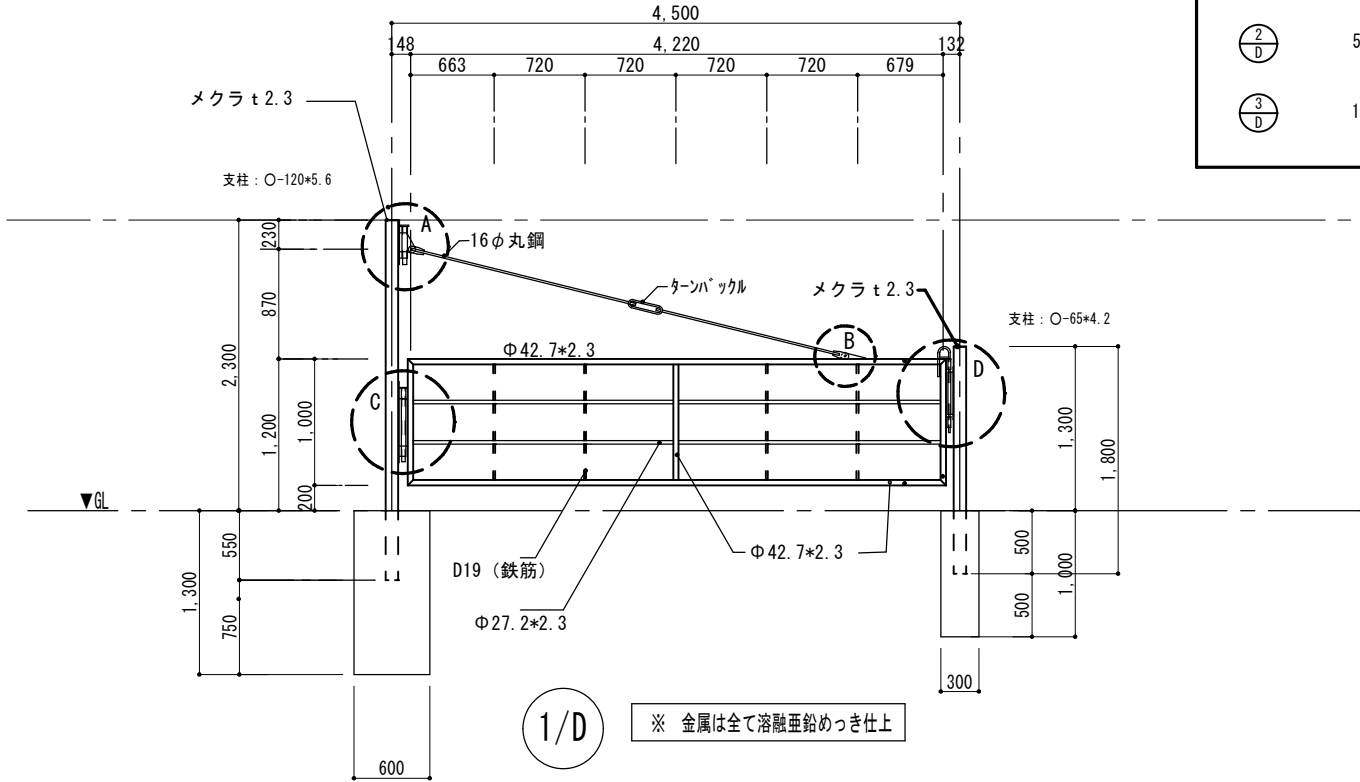




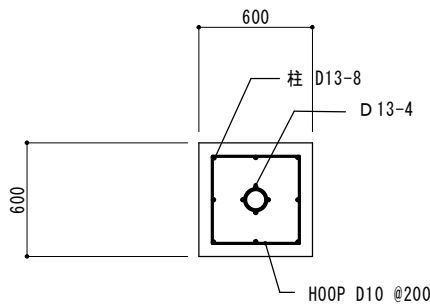
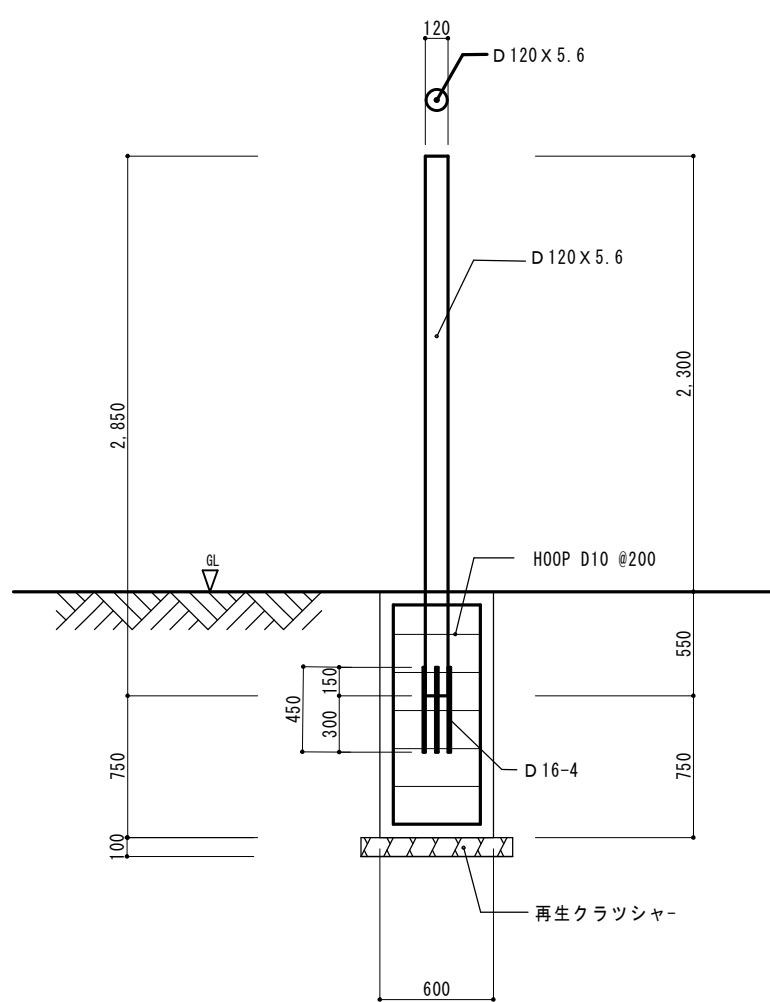


MEMO	 株式会社 <b>翁長設計</b> ●●● 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事  工事場所 国頭村字安田1477	日付 令和 07 年 03 月 日	図面内容	改修牧柵平面図  A1 : S = 1/100 (A3 : 1/200)	図面番号  G-02

建具数量	
① D	6箇所
② D	5箇所
③ D	1箇所

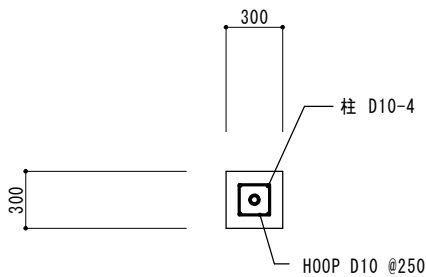
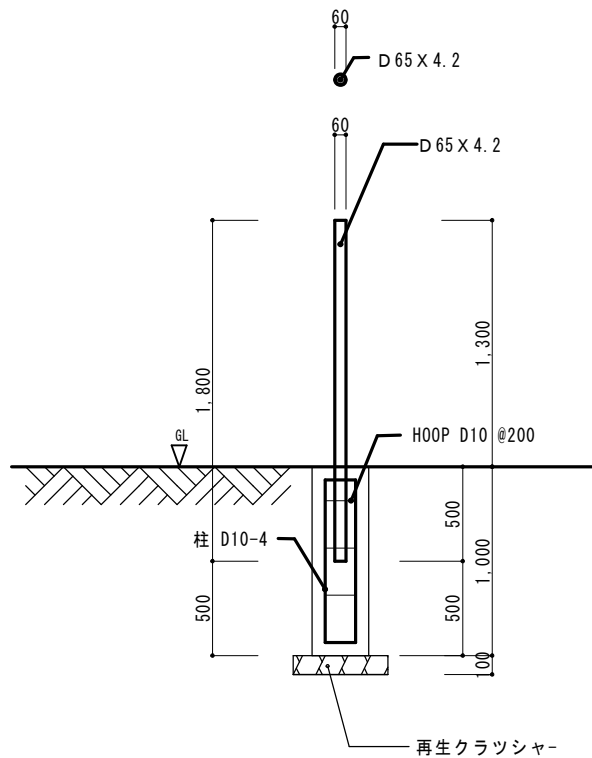


MEMO	<div><div><div>株式会社</div><div>翁長設計</div><div>●●●代表取締役 翁長武範</div></div><div><div>一級建築士事務所</div><div>一級建築士 376384 吉田康平</div><div>浦添市勢理客3-2-24</div><div>TEL 877-5609</div><div>FAX 878-9429</div></div></div>	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容	図面番号 G-03
				沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事		建具詳細図	
						工事場所 国頭村字安田1477	A1 : S = 1/50 (A3 : 1/100)



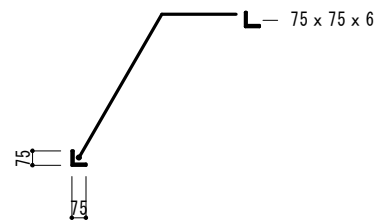
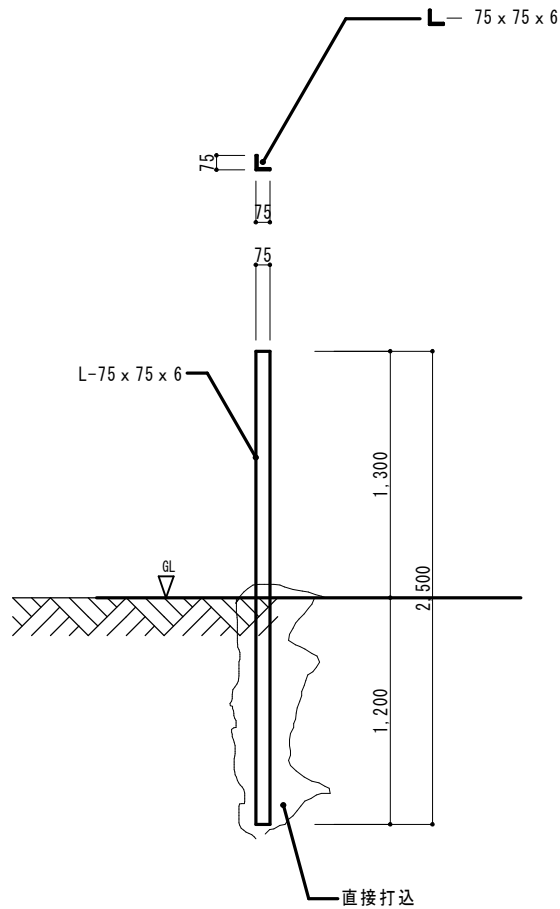
コンクリート FC=210

柵柱 A	A3:S=1/40
	A1:S=1/20



コンクリート FC=210

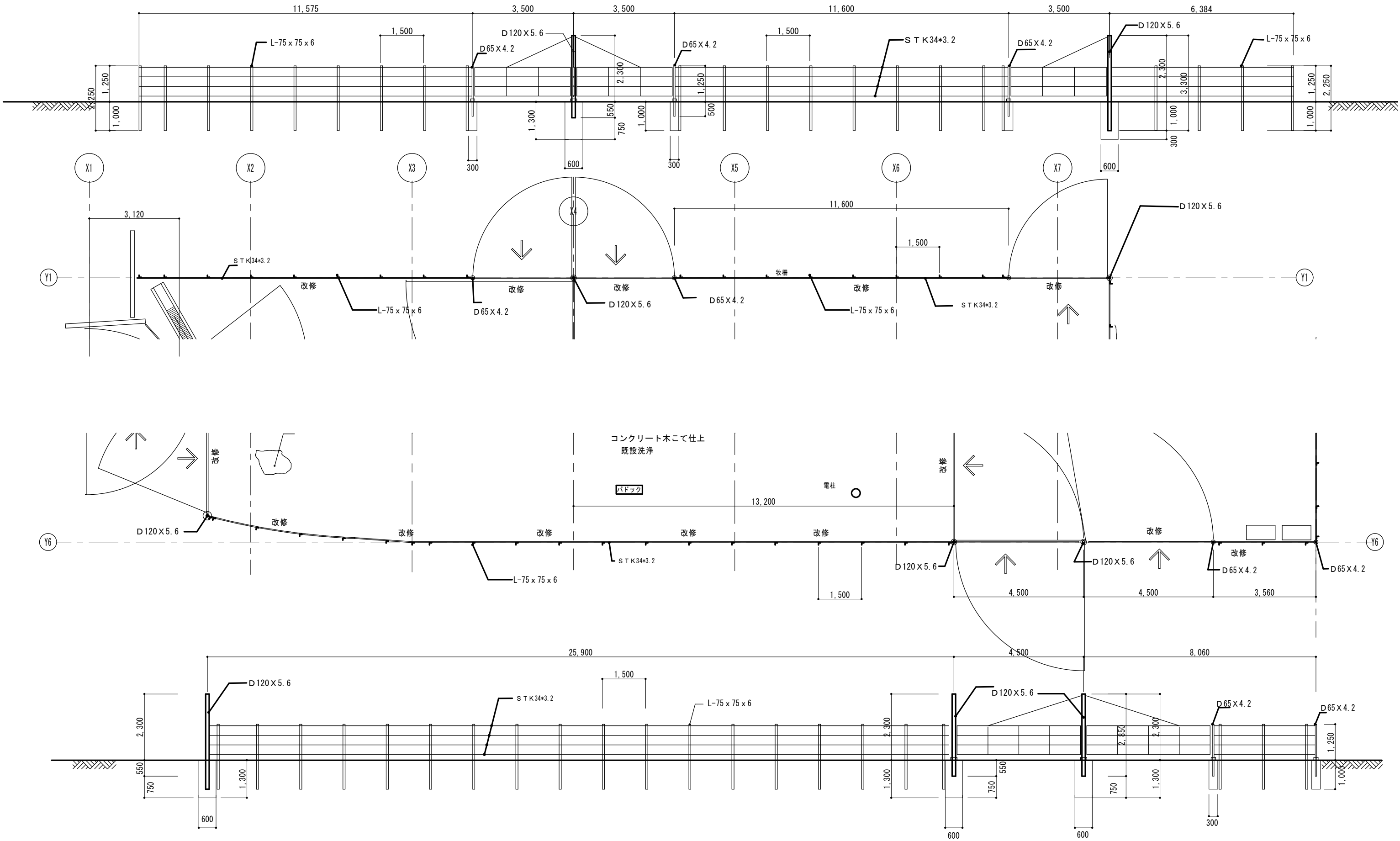
柵柱 B	A3:S=1/40
	A1:S=1/20



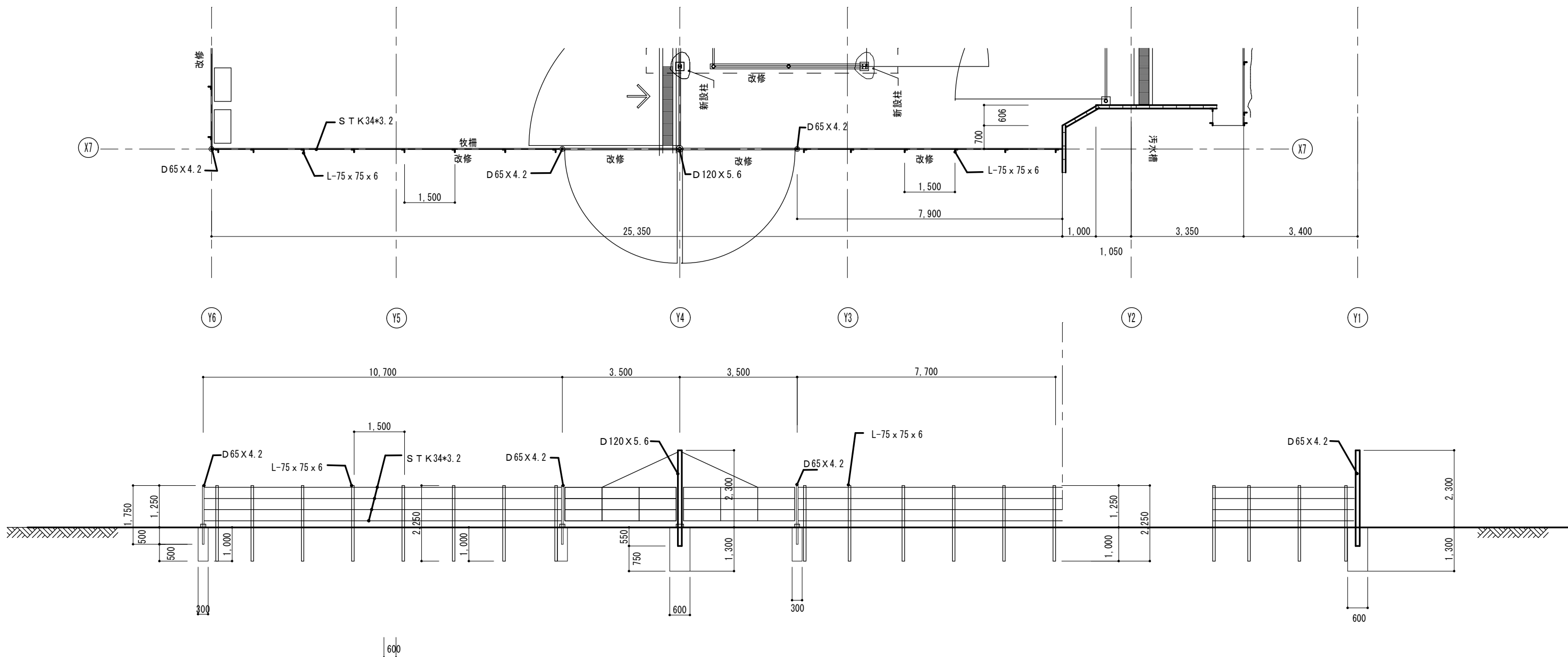
柵柱 C	A3:S=1/40
	A1:S=1/20

鉄 骨 全ての鉄骨材・溶融亜鉛メッキ加工

MEMO	 <div>株式会社 <b>翁長設計</b> ●●● 代表取締役 翁長武範</div>	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容 柵基礎詳細図-1	図面番号 G-04
					工事場所			
					沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事 国頭村字安田1477			

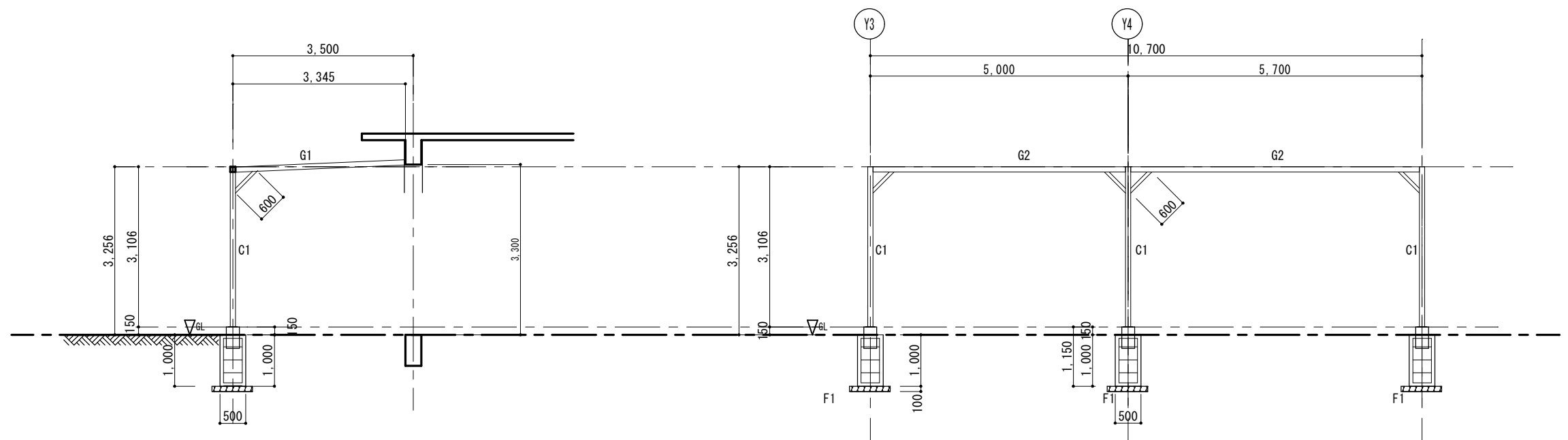
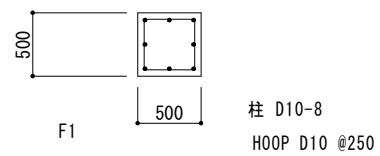


MEMO	 <div>株式会社 <b>翁長設計</b> ●●● 代表取締役 翁長武範</div>	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	日付 令和 07 年 03 月 日	図面内容 改修牧柵詳細図-2  A1 : S = 1/60 (A3 : 1/120)	図面番号  G-05
					沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事			
					工事場所 国頭村字安田1477			

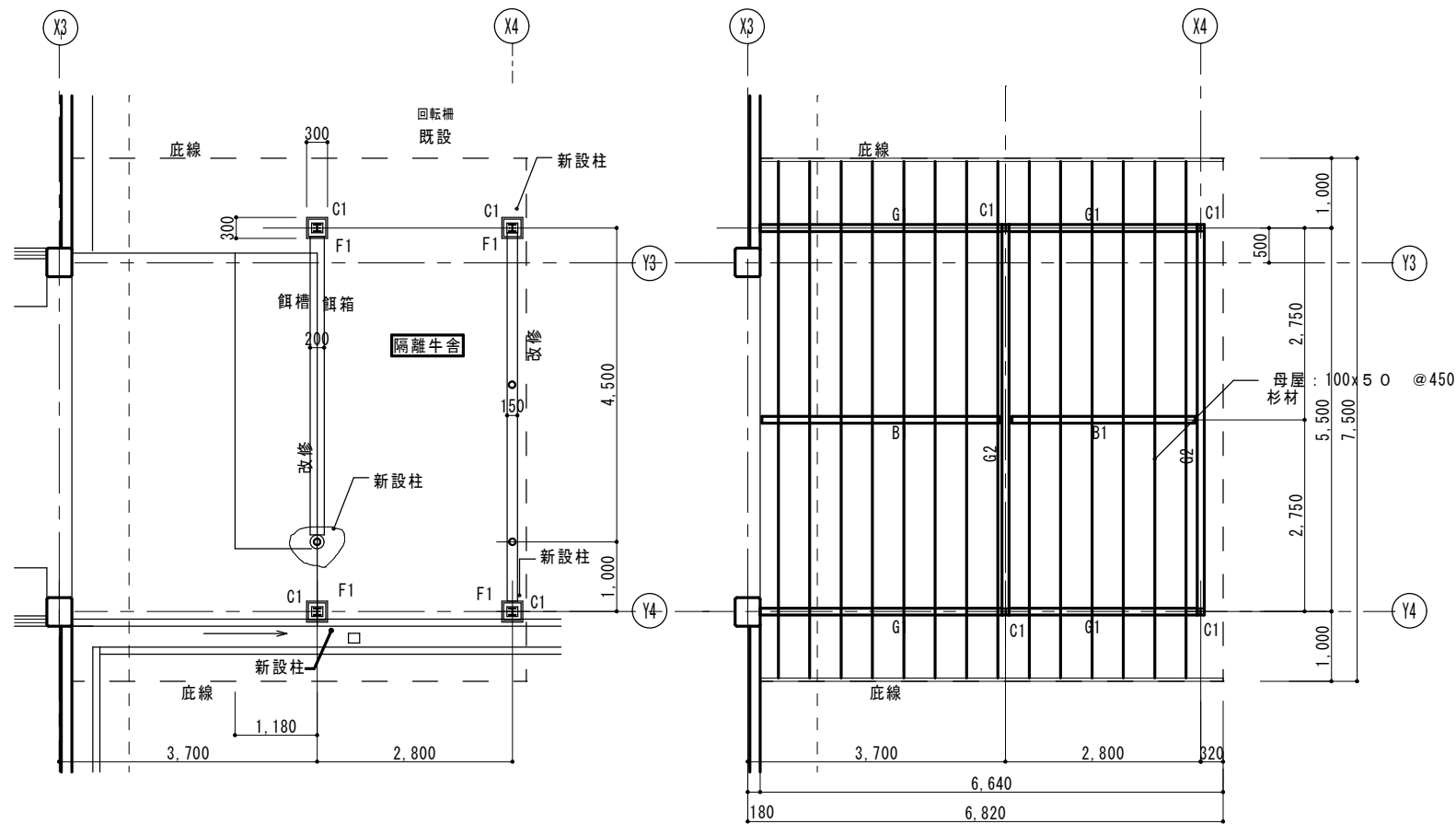


MEMO		株式会社 <b>翁長設計</b> ●●● 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 376384 吉田康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称	沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事	日付 令和 07 年 03 月 日	図面内容 改修牧柵詳細図-3	図面番号 G-06
						工事場所				
						国頭村字安田1477				



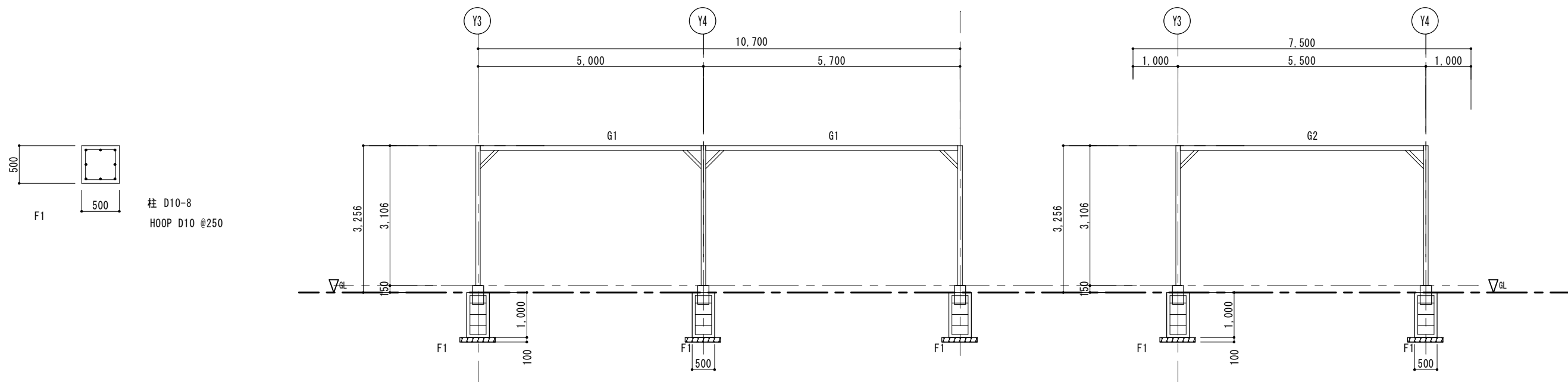


MEMO	 株式会社 <b>翁長設計</b> ● ● ● 代表取締役 翁長武範	一級建築士事務所（知事）登録第 162-192号 一級建築士 3 7 6 3 8 4 吉田 康平 浦添市勢理客3-2-24 TEL 877-5609 FAX 878-9429	管理建築士	設計	工事名称 沖縄県家畜改良センター育成牛舎修繕工事	日付 令和 07 年 07 月 日	図面内容	図面番号
					工事場所 国頭村字安田1477		構造図-1 A1 : S = 1/50 (A3 : 1/100)	S-01

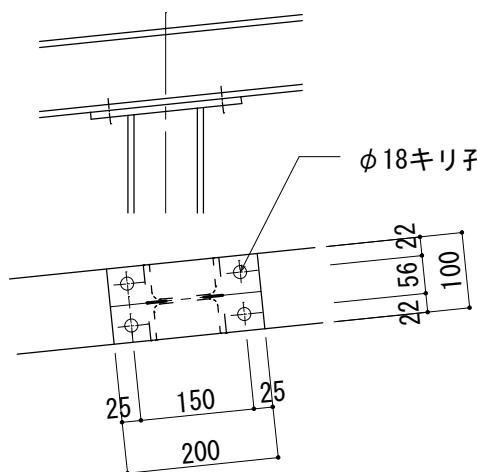
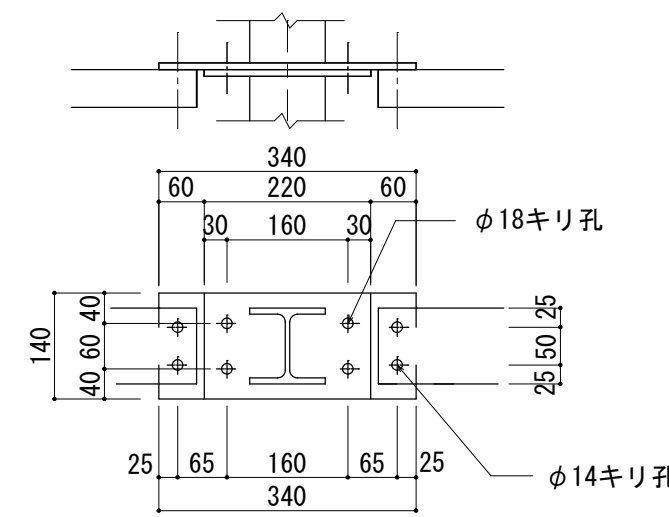
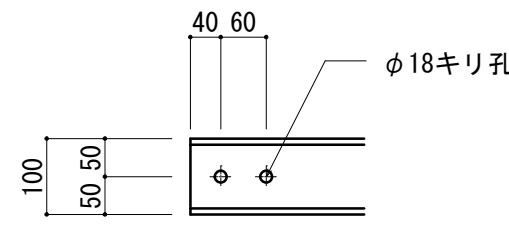
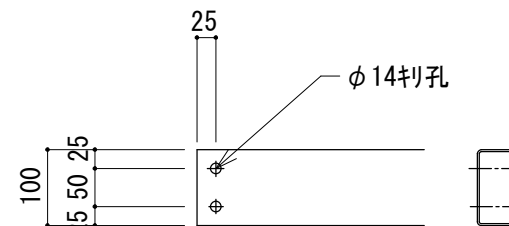
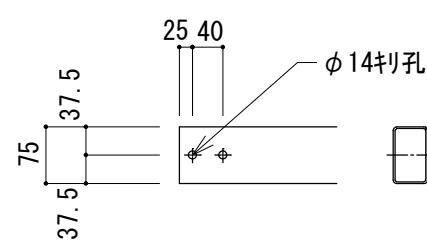
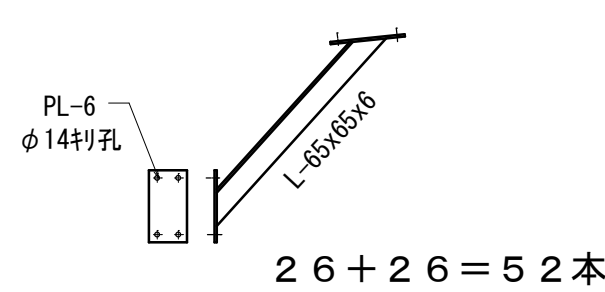
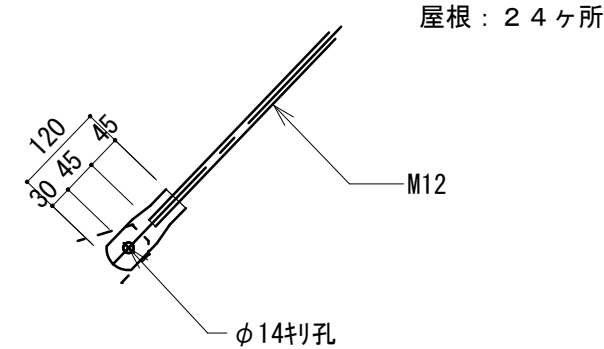
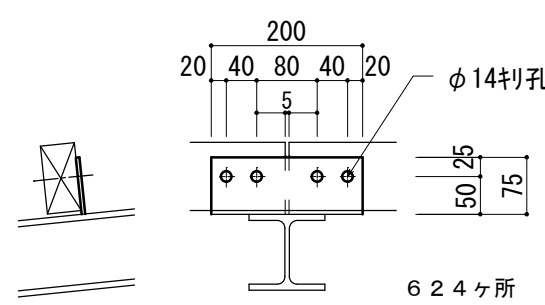


基礎伏図-小牛

小屋伏図-小牛



継ぎ手詳細図

梁符号		C1 H-100x100x6x8	7 8ヶ所	梁符号		G1 H-100x100x6x8（合掌部）	1 3ヶ所	梁符号		G2 H-100x100x6x8	2 4ヶ所	梁符号		B1 □-100x50x2.3	1 2ヶ所
															
フランジ		PL-9 100x200 M16x45 (B. N. SW) 3 1 2本													
ウェブ				PL-9 340x140 M16x45 (B. N. SW) 5 2本				G. PL-6 M16x45 (B. N. SW) 9 6本				PL-9 M12x80 (B. N. SW) 4 8本			
梁符号		B2 □-75x45x3.2	4 8ヶ所	梁符号		方杖 L-65x65x6	1 0 0ヶ所	梁符号		ﾌﾟﾚｰｽ M12（ﾀｰﾝﾊﾟｯｸﾙ付き）	2 4ヶ所	梁符号		母屋 90x60（杉材）	
												  杉材 90x60 3812.5- 96本 杉材 90x60 2995-480本 杉材 90x60 4 m- 10本			
		PL-6 M12x80 (B. N. SW) 1 9 2本				M12x40 (B. N. SW) 7 0 4本				G. PL-4.5 M12x30 (B. N. SW) 2 4 8本				ネコPL-6 M12x80 (B. N. W. SW) 2, 3 0 4本	